

**入善町地域福祉計画  
アンケート調査  
調査結果**

## 目次

<b>町民アンケートの概要</b> .....	<b>1</b>
<b>回答者の属性</b> .....	<b>3</b>
1. 性別 .....	3
2. 年齢 .....	3
3. 家族構成 .....	4
4. 同居家族 .....	5
5. 職業 .....	6
6. 居住区 .....	6
7. 居住年数 .....	7
<b>お住まいの地域について</b> .....	<b>8</b>
8. 地域と感ずる範囲 .....	8
9. ふだんの近所づきあい .....	9
10. 住民どうしの助け合い等について .....	11
11. 地域行事や活動参加状況 .....	13
12. 地域活動の活発化に大切と思うこと .....	15
<b>生活する上での課題や地域の福祉について</b> .....	<b>17</b>
13. 日頃の悩みや不安 .....	17
14. 悩みや不安の相談先 .....	21
15. 福祉との関わりについて .....	25
16. 役立っていると思う健康や福祉に関する情報 .....	27
17. ボランティア活動への興味 .....	29
18. ボランティア活動への参加状況 .....	31
19. ボランティア活動への参加状況 .....	33
20. ボランティア等活発化のために重要と思うこと .....	37
21. 高齢者や障がい者に心がけていること .....	41
22. 新型コロナウイルスの影響について .....	43
<b>地域福祉を進めるための取り組みについて</b> .....	<b>46</b>
23. 社会福祉協議会・民生委員・児童委員の活動内容認知 .....	46
24. 社会福祉協議会に期待すること .....	49
25. 必要な福祉サービスを受けるため必要と思うこと .....	52
26. 住民が助け合うために大切と思うこと .....	55
<b>成年後見制度の取り組みについて</b> .....	<b>57</b>
27. 成年後見制度の取り組みの認知 .....	57
28. 将来に向けて心配なこと .....	58
<b>再犯防止推進の取り組みについて</b> .....	<b>61</b>
29. 再犯防止推進の取り組みの認知 .....	61
30. 再犯防止のために必要だと思うこと .....	63



## 町民アンケートの概要

### 調査目的

本調査は、入善町地域福祉計画の策定にあたって、町民の地域福祉に対するニーズや意向などを聞き、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

### 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	本町に居住する18歳以上の町民
抽出数	1,500
抽出法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和4年7月～令和4年8月
調査地域	町内全域

### 配布数及び回収数

項目	内容
配布数	1,500
有効回収数	678
有効回収率	45.2%

### 地区別回収数

【居住地区別状況】(上段:件数、下段:構成比%)

標本数	入善地区	上原地区	青木地区	飯野地区	小摺戸地区	新屋地区	櫛山地区	横山地区	舟見地区	野中地区	無回答
678	162	81	48	144	35	55	65	36	38	10	4
100.0%	23.9%	11.9%	7.1%	21.2%	5.2%	8.1%	9.6%	5.3%	5.6%	1.5%	0.6%

※問6の結果参照

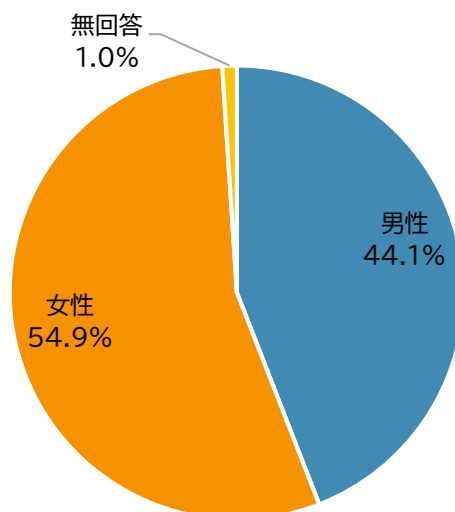
## 【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。よって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 2つ以上の回答が可能な質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すnは、比率算出上の母数（集計した標本数）を示しています。
- (4) 図表中における性別、年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの母数の合計と全体の母数は同じにならない場合があります。
- (5) 図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（0.0%）は、図と干渉して見えにくい場合などに、省略している場合があります。
- (6) 複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、一部を回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しました。
- (8) コメントに記載されている「前回調査」とは、平成23年度に実施された「入善町地域福祉計画」策定に関する町民アンケート調査を指します。

## 回答者の属性

### 1. 性別

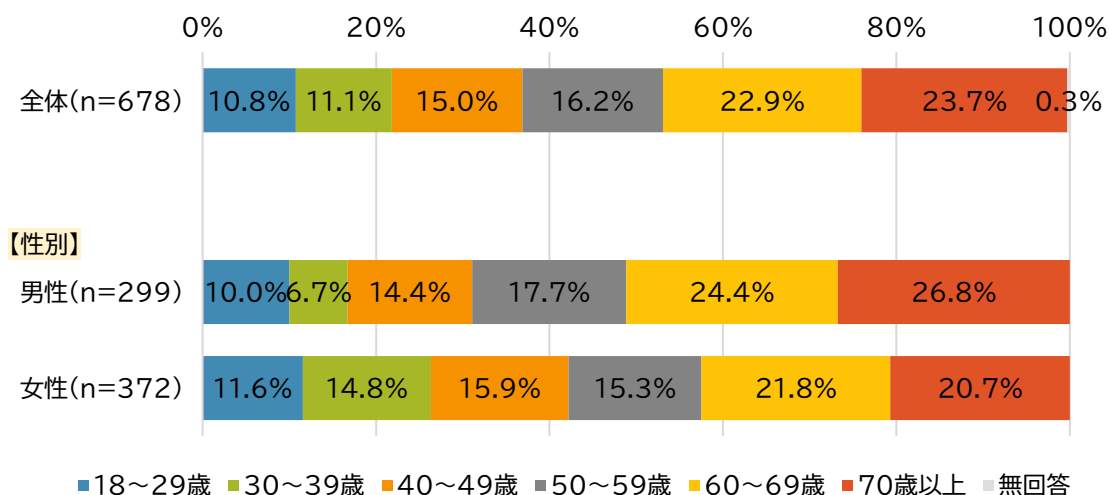
性別は、「男性」が44.1%、「女性」が54.9%となっています。



### 2. 年齢

年齢は、「70歳以上」の割合が23.7%と最も高く、次いで「60～69歳」(22.9%)の順となっており、『60歳以上(合計)』で4割以上となっています。以下「50～59歳」(16.2%)、「40～49歳」(15.0%)、「30～39歳」(11.1%)、「20～29歳」(10.8%)の順となっています。

性別では、男性で「70歳以上」、女性で「30～39歳」の割合が比較的高くなっています。

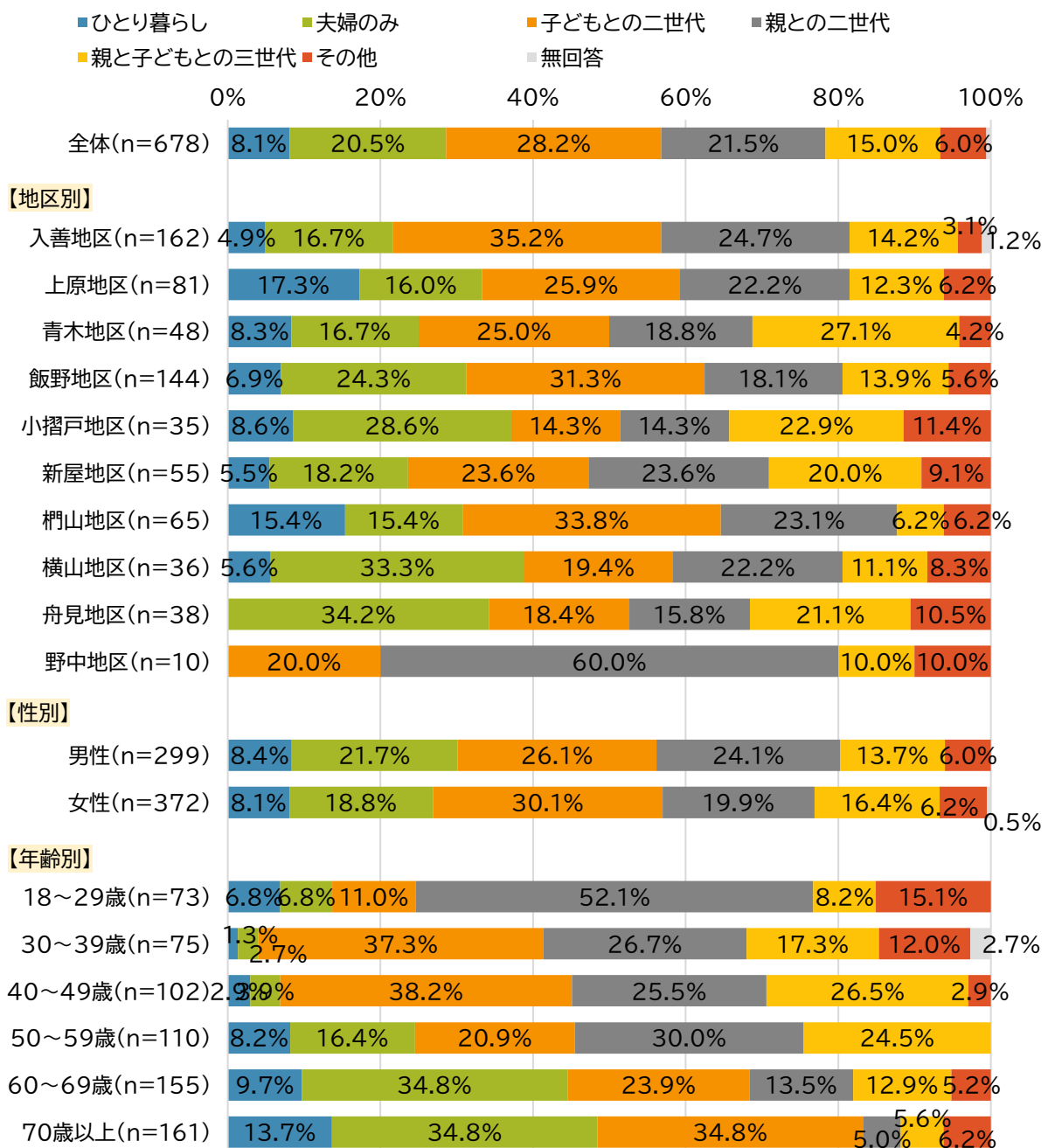


### 3. 家族構成

家族構成は、「子どもとの二世帯」が 28.2%、「親との二世帯」が 21.5%となっており、合わせると『二世帯（合計）』で 49.7%となっています。以下「夫婦のみ」（20.5%）、「親と子どもとの三世帯」（15.0%）、「ひとり暮らし」（8.1%）の順となっています。

地区別では、上原地区・梶山地区で「ひとり暮らし」、横山地区・舟見地区で「夫婦のみ」、青木地区で「親と子供の三世帯」の割合が比較的高くなっています。

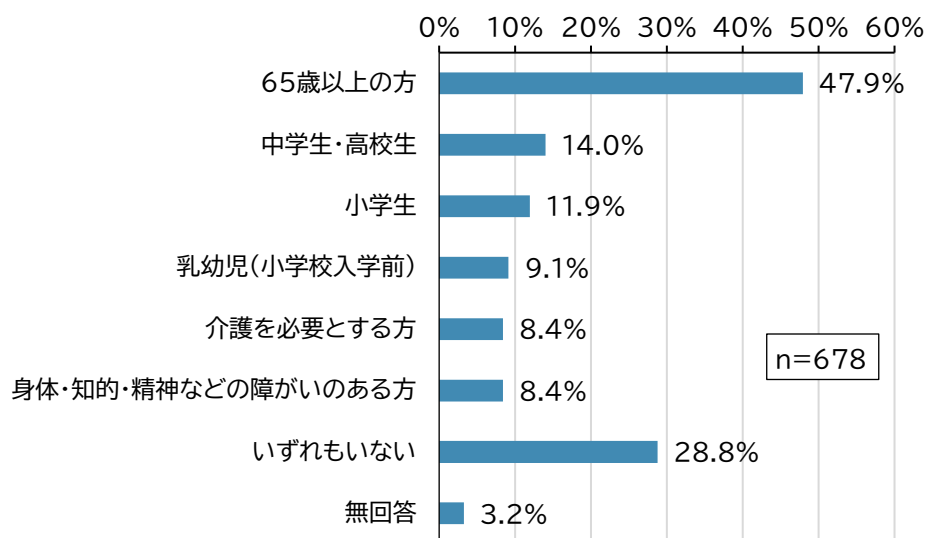
性別での大きな差はなく、年齢別では、18～29歳で「親との二世帯」、40～59歳で「親と子どもとの三世帯」、70歳以上で「ひとり暮らし」の割合が他の年齢層に比べそれぞれ高くなっています。



#### 4. 同居家族

同居家族は、「65歳以上の方」が47.9%で最も高い一方で、「いずれもない」が28.8%となっています。

性別での大きな差はなく、年齢別では、30～39歳で「小学生」「乳幼児（小学校入学前）」、40～49歳で「中学生・高校生」、60～69歳で「介護を必要とする方」の割合がそれぞれ高く、18～29歳で「いずれもない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



		65歳以上の方	中学生・高校生	小学生	乳幼児(小学校入学前)	介護を必要とする方	身体・知的・精神などの障がいのある方	いずれもない
全体(n=678)		47.9%	14.0%	11.9%	9.1%	8.4%	8.4%	28.8%
性別	男性(n=299)	49.8%	14.0%	9.7%	8.0%	8.4%	7.7%	30.1%
	女性(n=372)	46.5%	14.2%	14.0%	10.2%	8.6%	8.3%	28.2%
年齢別	18～29歳(n=73)	34.2%	15.1%	2.7%	6.8%	6.8%	8.2%	42.5%
	30～39歳(n=75)	37.3%	12.0%	29.3%	42.7%	8.0%	5.3%	14.7%
	40～49歳(n=102)	51.0%	36.3%	24.5%	10.8%	2.9%	6.9%	16.7%
	50～59歳(n=110)	52.7%	12.7%	6.4%	1.8%	10.9%	10.9%	30.9%
	60～69歳(n=155)	52.9%	5.8%	7.7%	4.5%	15.5%	8.4%	32.3%
	70歳以上(n=161)	49.7%	9.3%	8.1%	3.1%	4.3%	9.3%	32.3%

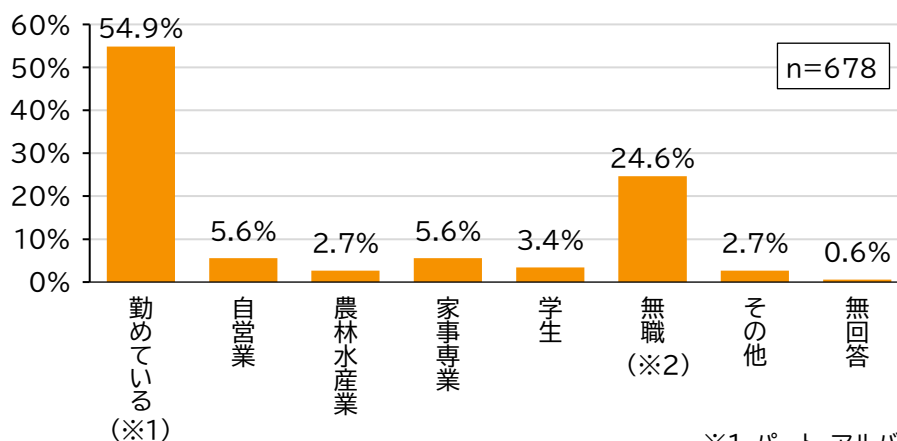
注:表中の■の網掛けは、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。  
 (例/性別の場合、男性と女性を比べて高いほうに、年齢別の場合、最も割合が高い年齢に網掛け。)  
 但し、回答割合が10%以下の項目、n数が10以下の項目、及び「その他」については網掛けしていない。  
 また、表中の□の枠は、コメントの記載に該当する箇所を示している。  
 (本報告書においては、以下同様)



## 5. 職業

職業は、「勤めている（パート・アルバイトも含む）」が54.9%で最も高く、次いで「無職（年金生活者など）」が24.6%となっています。

性別では大きな差はなく、年齢別では、30歳～59歳で「勤めている（パート・アルバイトも含む）」、60歳以上で「無職（年金生活者など）」の割合がそれぞれ高くなっています。



※1 パート・アルバイトも含む  
 ※2 年金生活者など

		勤めている	自営業	農林水産業	家事専業	学生	無職	その他
全体(n=678)		54.9%	5.6%	2.7%	5.6%	3.4%	24.6%	2.7%
性別	男性(n=299)	53.2%	7.7%	4.7%	0.3%	3.3%	27.8%	2.7%
	女性(n=372)	57.0%	3.8%	1.1%	9.7%	3.5%	22.0%	2.7%
年齢別	18～29歳(n=73)	58.9%	0.0%	2.7%	1.4%	30.1%	5.5%	0.0%
	30～39歳(n=75)	82.7%	8.0%	0.0%	1.3%	0.0%	4.0%	4.0%
	40～49歳(n=102)	82.4%	3.9%	3.9%	2.9%	0.0%	2.0%	4.9%
	50～59歳(n=110)	80.9%	3.6%	0.9%	5.5%	0.0%	5.5%	2.7%
	60～69歳(n=155)	42.6%	9.0%	3.9%	9.0%	0.6%	32.9%	1.9%
	70歳以上(n=161)	17.4%	6.2%	3.1%	8.1%	0.0%	62.7%	2.5%

## 6. 居住区

【居住地区別状況】(上段:件数、下段:構成比%)

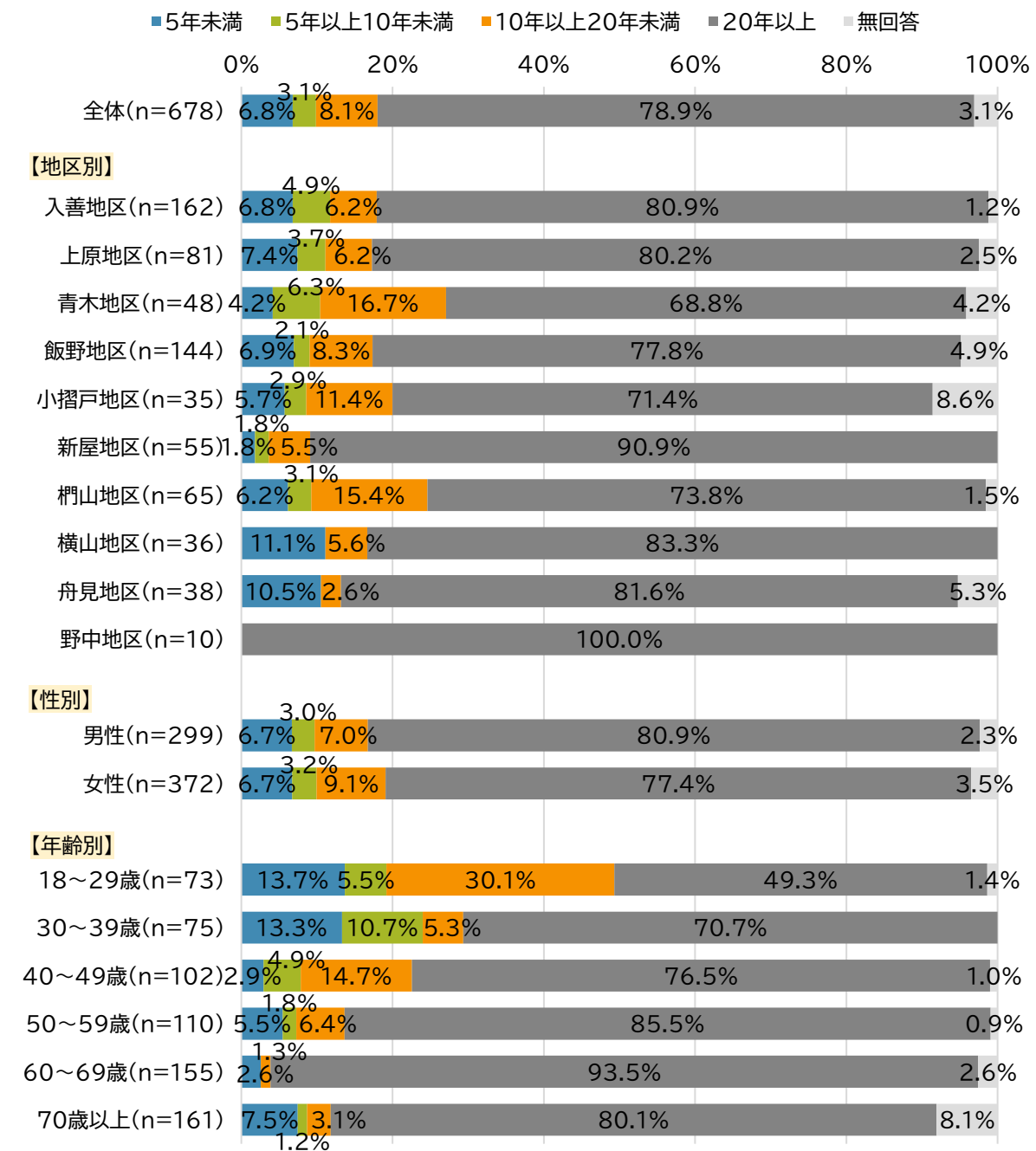
標本数	入善地区	上原地区	青木地区	飯野地区	小摺戸地区	新屋地区	桐山地区	横山地区	舟見地区	野中地区	無回答
678	162	81	48	144	35	55	65	36	38	10	4
100.0%	23.9%	11.9%	7.1%	21.2%	5.2%	8.1%	9.6%	5.3%	5.6%	1.5%	0.6%

## 7. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が78.9%で最も高く、「10年以上20年未満」(8.1%)と、『10年以上(合計)』で8割以上となっています。

地区別では、青木地区・梶山地区で「10年以上20年未満」の割合が比較的高いが、どの地区も「20年以上」の割合がほとんどを占める傾向となっています。

性別では、大きな差はなく、年齢別では、18～39歳で「5年未満」、18～29歳で「10年以上20年未満」、30～39歳で「5年以上10年未満」、50歳以上の年齢層で「20年以上」の割合がそれぞれ高くなっています。



# お住まいの地域について

## 8. 地域と感ずる範囲

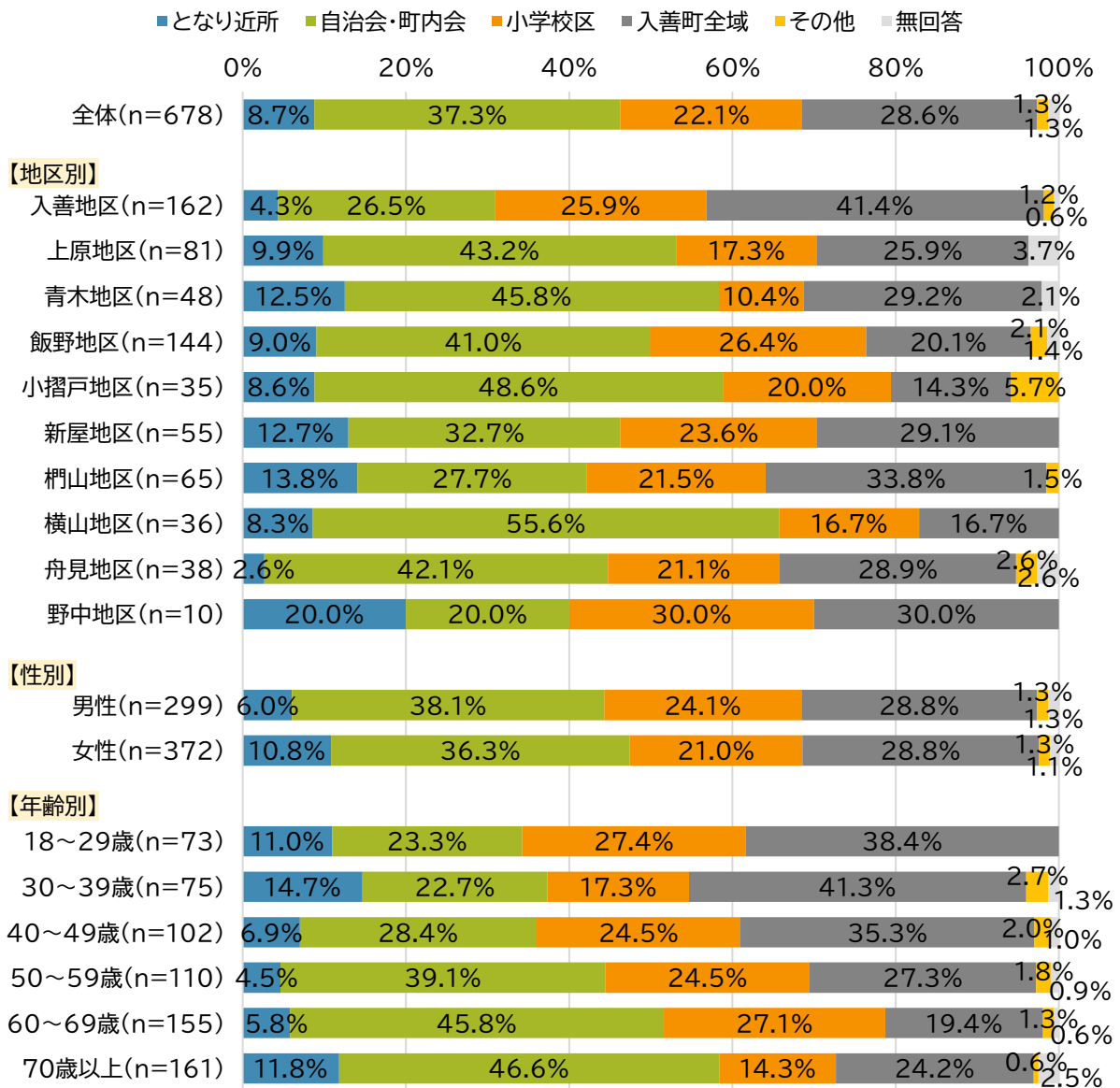
問8 あなたにとって「地域」と感ずるのはどれくらいの範囲ですか。(1つに〇)

地域と感ずる範囲については、「自治会・町内会」が37.3%で最も高く、次いで「入善町全域」(28.6%)、「小学校区」(22.1%)の順となっています。

地区別では、青木地区・小摺戸地区・横山地区で「自治会・町内会」、入善地区で「入善町全体」の割合が比較的高くなっています。

性別では、大きな差はなく、年齢別では、18～49歳で「入善町全域」の割合が高くなっています。また、60歳以上で「自治会・町内会」の割合が他の年齢層に比べ高くなっています。

なお、前回調査では20～29歳で「入善町全体」の割合が特に高かったが、今回調査では、18～49歳で比較的高くなっています。



## 9. ふだんの近所づきあい

問9 あなたは、ふだんどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

ふだんの近所づきあいについては、「家を行き来するほどではないが、会えば親しく話をする人がいる」が40.4%で最も高く、次いで「あいさつ程度の人がほとんど」(35.5%)、「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」(16.4%)の順となっています。

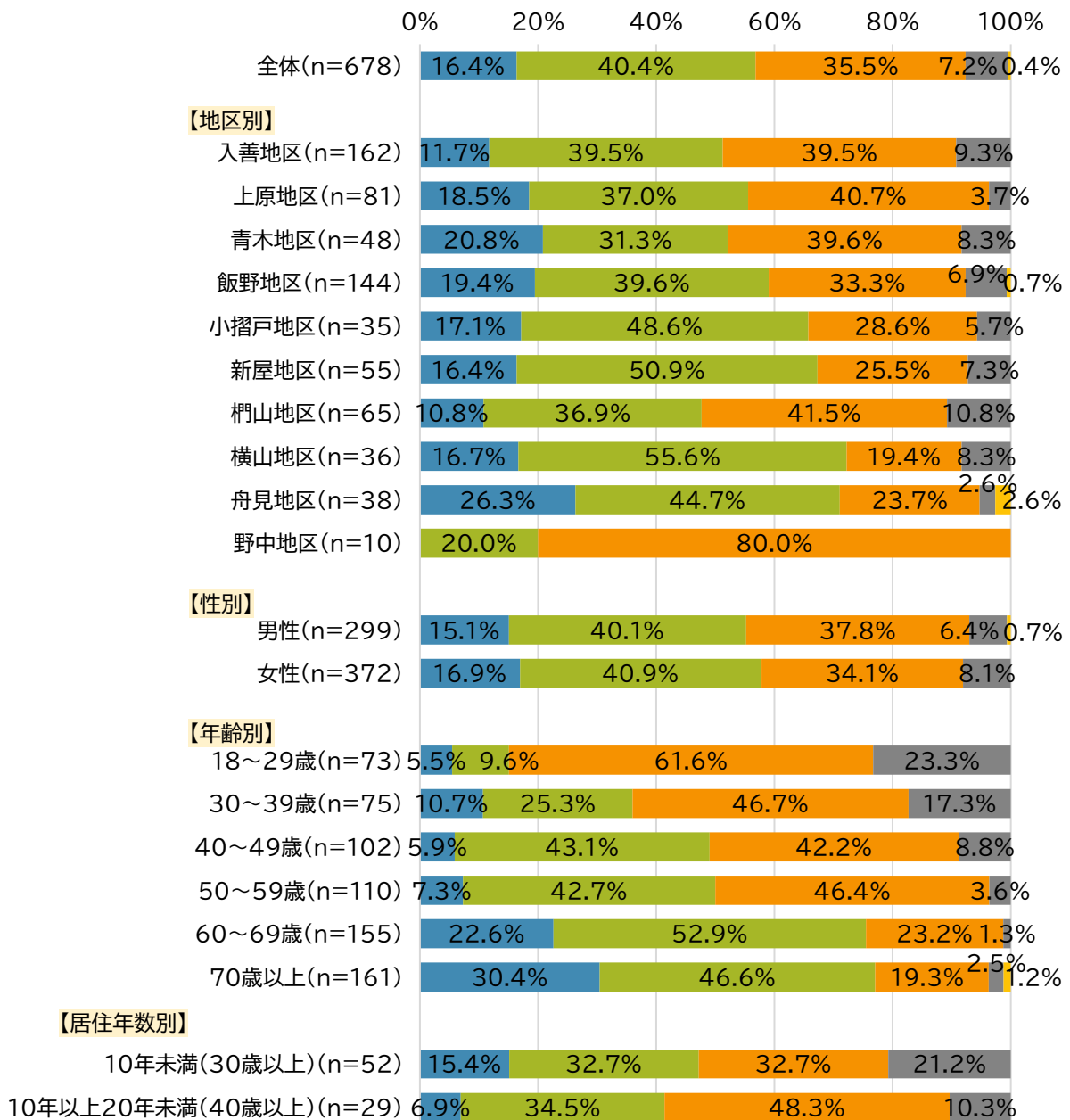
地区別では、舟見地区で「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」、新屋地区・横山地区で「家を行き来するほどではないが、会えば親しく話をする人がいる」の割合が比較的高くなっています。

性別では、大きな差はなく、年齢別では、18～59歳で「あいさつ程度の人がほとんど」の割合が高く、18～39歳では、「近所づきあいはほとんどしていない」の割合も比較的高くなっています。一方、60～69歳で「家を行き来するほどではないが、会えば親しく話をする人がいる」、70歳以上で「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」の割合が高くなっています。

居住年数別では、居住年数が10年未満で「近所づきあいはほとんどない」、居住年数が10年以上20年未満で「あいさつ程度の人がほとんど」の割合が高くなっています。

なお、前回調査に比べ、今回調査では「あいさつ程度の人がほとんど」や「近所づきあいはほとんどない」といった近所づきあいが希薄な割合が、どの年齢層でも高くなっています。

- お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる
- 家を行き来するほどではないが、会えば親しく話をする人がいる
- あいさつ程度の人がほとんど
- 近所づきあいはほとんどしていない
- 無回答



注:【居住年数別】は、なるべく入善町に移住してきた回答者を対象とするために居住年数ごとに年齢を絞っている。  
(本報告書においては、以下同様)

## 10. 住民どうしの助け合い等について

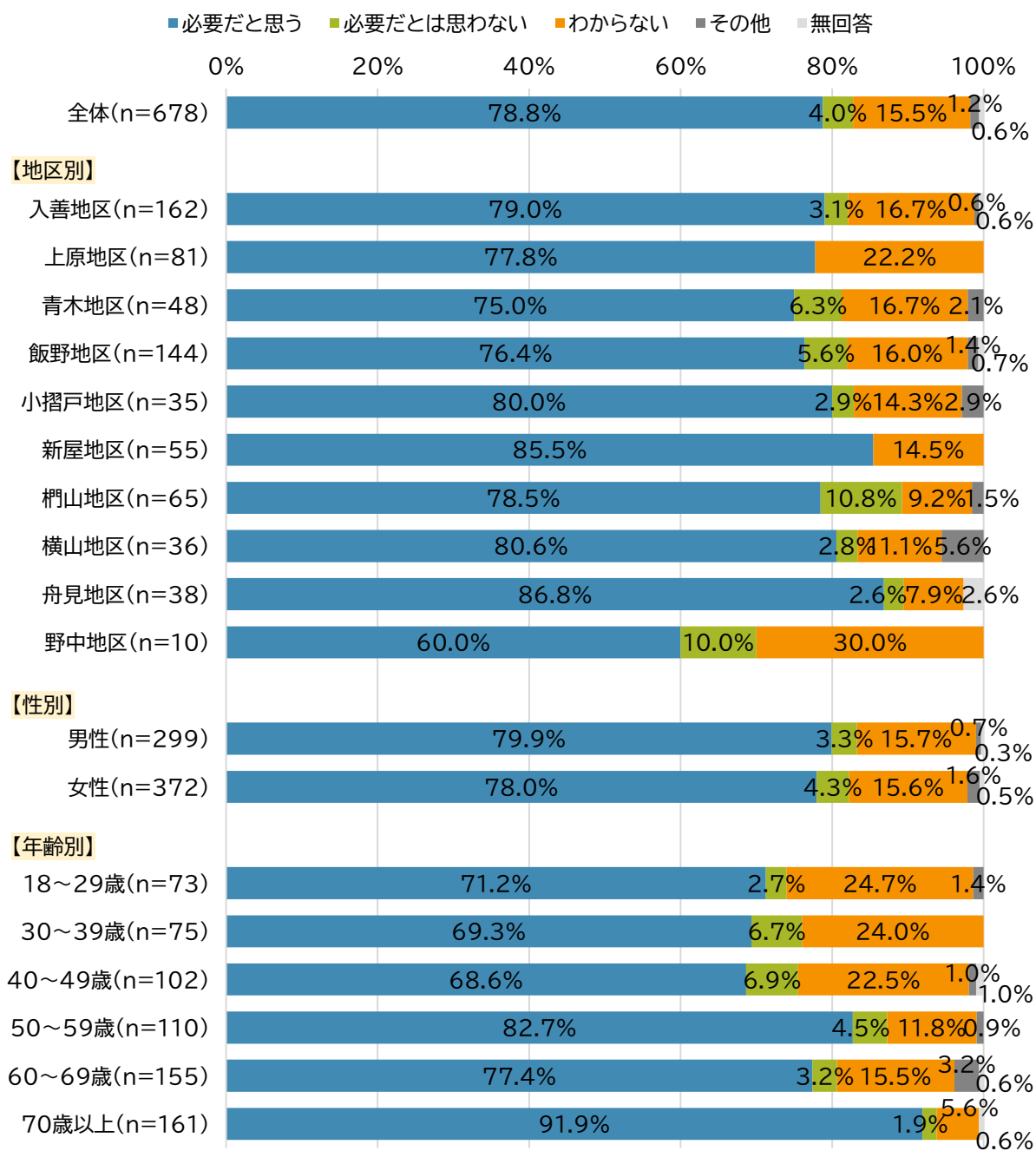
問 10 地域で暮らす住民どうしの自主的な支えあい、助けあいについて、どのように思いますか。  
(1つに○)

住民どうしの助け合い等については、「必要だと思う」が78.8%となっています。

地区別では、新屋地区・舟見地区で「必要だと思う」、柵山地区で「必要だと思わない」の割合が比較的高くなっています。

性別では、大きな差はなく、年齢別では、18～49歳では「わからない」、70歳以上で「必要だと思う」の割合が他の年齢層に比べ高くなっています。

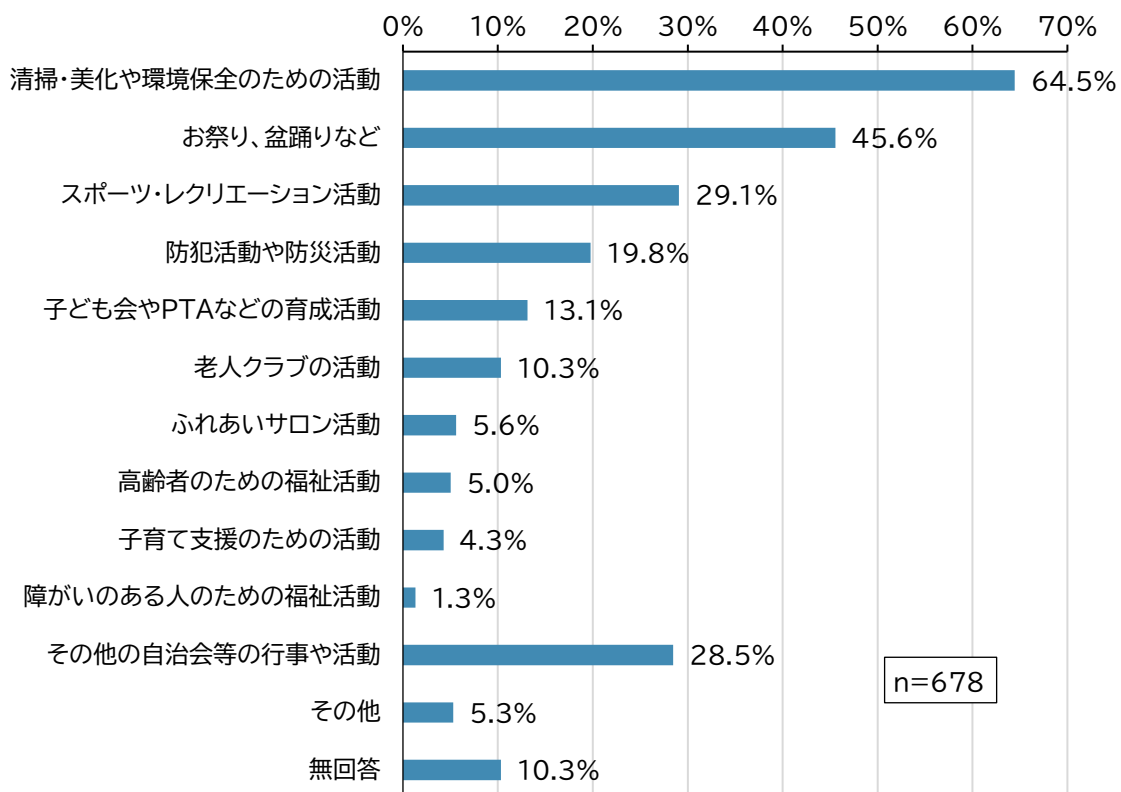
なお、前回調査に比べ、今回調査では30～49歳で「必要だと思う」の割合が比較的低くなっています。



## 11. 地域行事や活動参加状況

問 11 お住まいの地域で行われている行事や活動などに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

地域行事や地域活動の参加状況は、「清掃・美化や環境保全のための活動」が64.5%で最も高く、次いで「お祭り、盆踊りなど」(45.6%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(29.1%)、「その他の自治会等の行事や活動」(28.5%)の順となっています。





地区別では、小摺戸地区・新屋地区・舟見地区で「お祭り、盆踊りなど」の割合が比較的高くなっています。また、小摺戸地区では「清掃・美化や環境保全のための活動」「スポーツ・レクリエーション活動」「防犯活動や防災活動」「子ども会やPTAなどの育成活動」の割合も比較的高くなっています。

性別では、男性で「清掃・美化や環境保全のための活動」「お祭り、盆踊りなど」「スポーツ・レクリエーション活動」「防犯活動や防災活動」「その他の自治会等の行事や活動」の割合が高くなっています。

年齢別では、30～49歳で「子ども会やPTAなどの育成活動」、60歳以上で「清掃・美化や環境保全のための活動」「その他の自治会等の行事や活動」、70歳以上で「老人クラブの活動」の割合が高くなっています。

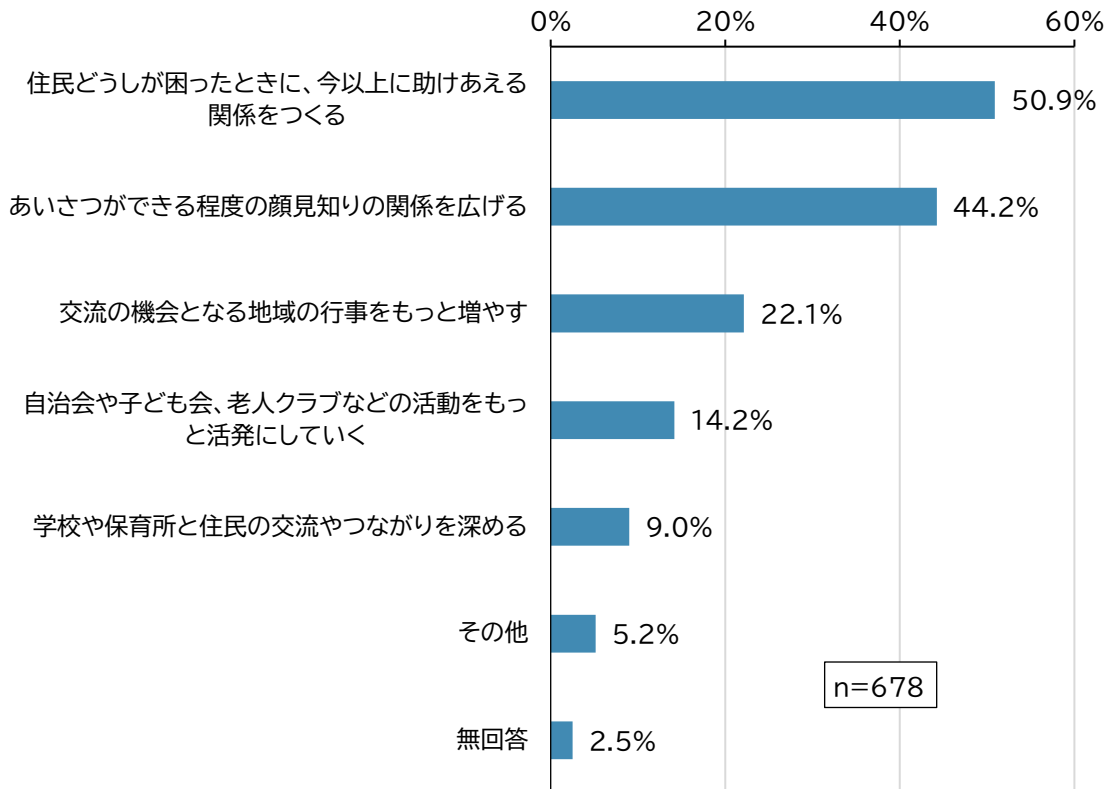
なお、前回調査に比べ、今回調査では18～39歳で「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が比較的下がっています。

		清掃・美化や環境保全のための活動	お祭り、盆踊りなど	スポーツ・レクリエーション活動	防犯活動や防災活動	子ども会やPTAなどの育成活動	老人クラブの活動	ふれあいサロン活動	高齢者のための福祉活動	子育て支援のための活動	障がいのある人のための福祉活動	その他の自治会等の行事や活動	その他
全体(n=678)		64.5%	45.6%	29.1%	19.8%	13.1%	10.3%	5.6%	5.0%	4.3%	1.3%	28.6%	5.3%
地区別	入善地区(n=162)	54.3%	46.9%	27.8%	11.7%	16.0%	4.9%	4.9%	4.3%	4.9%	3.1%	22.2%	4.9%
	上原地区(n=81)	60.5%	50.6%	29.6%	30.9%	14.8%	11.1%	2.5%	9.9%	7.4%	3.7%	33.3%	9.9%
	青木地区(n=48)	64.6%	52.1%	39.6%	27.1%	18.8%	18.8%	4.2%	2.1%	8.3%	0.0%	27.1%	4.2%
	飯野地区(n=144)	76.4%	38.2%	22.9%	15.3%	9.0%	15.3%	6.9%	5.6%	2.1%	0.0%	27.8%	5.6%
	小摺戸地区(n=35)	80.0%	62.9%	42.9%	42.9%	25.7%	17.1%	8.6%	5.7%	8.6%	0.0%	45.7%	2.9%
	新屋地区(n=55)	65.5%	63.6%	34.5%	14.5%	16.4%	5.5%	3.6%	1.8%	3.6%	0.0%	38.2%	0.0%
	柵山地区(n=65)	58.5%	26.2%	26.2%	15.4%	7.7%	6.2%	4.6%	1.5%	3.1%	0.0%	16.9%	9.2%
	横山地区(n=36)	75.0%	27.8%	25.0%	13.9%	8.3%	16.7%	13.9%	8.3%	0.0%	2.8%	30.6%	2.8%
	舟見地区(n=38)	68.4%	60.5%	36.8%	36.8%	7.9%	7.9%	5.3%	7.9%	2.6%	0.0%	39.5%	2.6%
	野中地区(n=10)	30.0%	40.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	10.0%
性別	男性(n=299)	72.9%	52.5%	37.8%	28.4%	11.7%	13.4%	6.0%	5.0%	2.7%	1.0%	40.1%	4.0%
	女性(n=372)	57.8%	40.3%	22.3%	13.2%	14.5%	7.8%	5.1%	5.1%	5.6%	1.6%	19.6%	6.5%
年齢別	18～29歳(n=73)	17.8%	46.6%	15.1%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	4.1%
	30～39歳(n=75)	32.0%	45.3%	17.3%	6.7%	29.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%	12.0%	10.7%
	40～49歳(n=102)	64.7%	54.9%	37.3%	21.6%	35.3%	0.0%	0.0%	2.0%	6.9%	1.0%	20.6%	3.9%
	50～59歳(n=110)	72.7%	43.6%	36.4%	24.5%	18.2%	3.6%	2.7%	3.6%	3.6%	0.9%	25.5%	3.6%
	60～69歳(n=155)	81.9%	45.2%	34.2%	28.4%	3.9%	6.5%	6.5%	3.9%	1.3%	1.3%	41.9%	5.8%
	70歳以上(n=161)	78.3%	41.0%	26.1%	21.1%	1.9%	34.8%	14.9%	13.7%	4.3%	3.1%	41.6%	5.0%

## 12. 地域活動の活発化に大切と思うこと

問 12 地域活動や行事がさらに活発に行われるようにしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(〇は2つまで)

地域活動の活発化に大切と思うことは、「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる」が 50.9%で最も高く、次いで「あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる」(44.2%)、「交流の機会となる地域の行事をもっと増やす」(22.1%)の順となっています。



地区別では、小摺戸地区で「自治会や子ども会、老人クラブなどの活動をもっと活発にしていく」、新屋地区で「交流の機会となる地域の行事をもっと増やす」、柵山地区で「あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる」、舟見地区「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる」の割合が比較的高くなっています。

性別では、女性で「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる」「学校や保育所と住民の交流やつながりを深める」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、30～39歳で「あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる」「学校や保育所と住民の交流やつながりを深める」、70歳以上で「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる」の割合が高くなっています。

なお、前回調査と比べ、今回調査では全体的に「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる」の割合が下がり、「あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる」の割合が高くなっています。

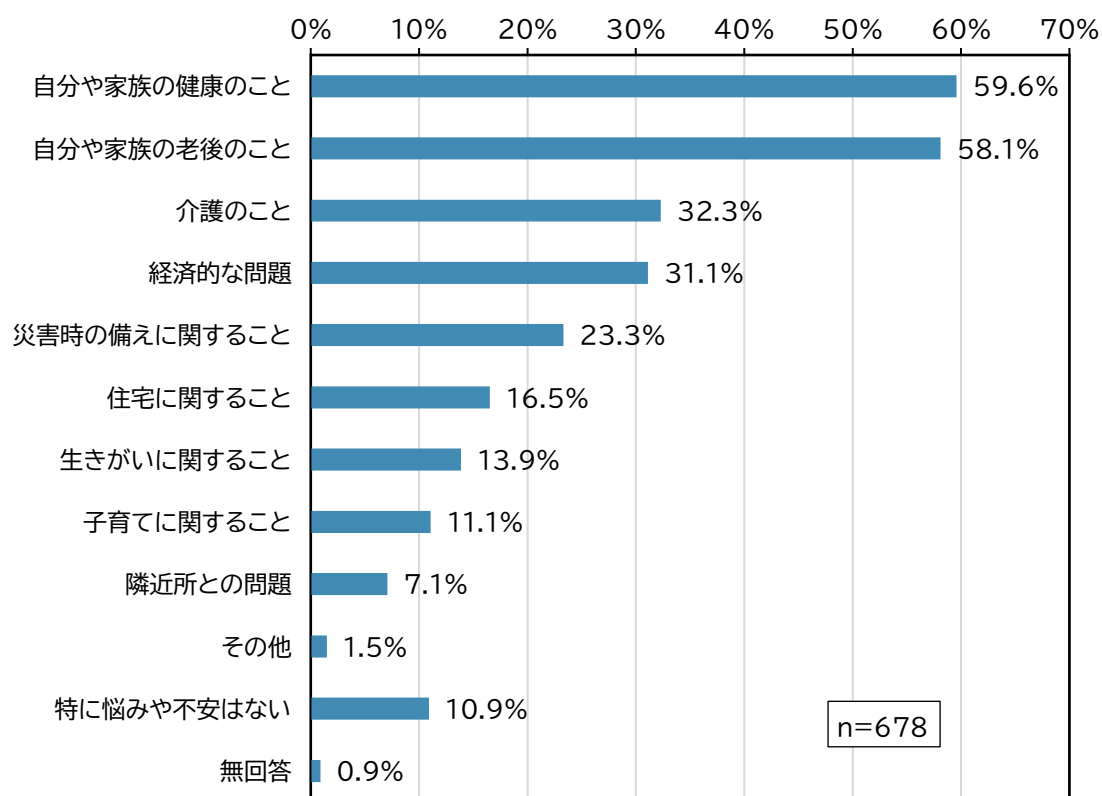
		住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる	あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる	交流の機会となる地域の行事をもっと増やす	自治会や子ども会、老人クラブなどの活動をもっと活発にしていく	学校や保育所と住民の交流やつながりを深める	その他
全体(n=678)		50.9%	44.4%	22.1%	14.2%	9.0%	5.2%
地区別	入善地区(n=162)	50.0%	42.6%	17.3%	16.0%	10.5%	4.3%
	上原地区(n=81)	45.7%	51.9%	17.3%	12.3%	12.3%	3.7%
	青木地区(n=48)	31.3%	52.1%	31.3%	18.8%	10.4%	4.2%
	飯野地区(n=144)	50.0%	46.5%	24.3%	11.8%	6.3%	4.9%
	小摺戸地区(n=35)	60.0%	37.1%	17.1%	28.6%	2.9%	8.6%
	新屋地区(n=55)	60.0%	41.8%	32.7%	5.5%	10.9%	3.6%
	柵山地区(n=65)	49.2%	56.9%	16.9%	10.8%	9.2%	9.2%
	横山地区(n=36)	58.3%	33.3%	27.8%	22.2%	5.6%	0.0%
	舟見地区(n=38)	63.2%	15.8%	28.9%	15.8%	13.2%	10.5%
	野中地区(n=10)	70.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
性別	男性(n=299)	47.8%	43.5%	24.7%	16.7%	6.4%	6.0%
	女性(n=372)	53.0%	45.4%	19.9%	12.4%	11.3%	4.6%
年齢別	18～29歳(n=73)	50.7%	39.7%	27.4%	6.8%	17.8%	0.0%
	30～39歳(n=75)	30.7%	54.7%	17.3%	9.3%	21.3%	10.7%
	40～49歳(n=102)	42.2%	43.1%	21.6%	13.7%	9.8%	3.9%
	50～59歳(n=110)	47.3%	47.3%	20.9%	10.0%	6.4%	6.4%
	60～69歳(n=155)	54.8%	42.6%	18.7%	18.7%	7.1%	7.7%
	70歳以上(n=161)	64.6%	42.9%	26.1%	18.6%	2.5%	2.5%

## 生活する上での課題や地域の福祉について

### 13. 日頃の悩みや不安

問 13 日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

日頃の悩みや不安については、「自分や家族の健康のこと」が59.6%で最も高く、次いで「自分や家族の老後のこと」(58.1%)、「介護のこと」(32.3%)、「経済的な問題」(31.1%)、「災害時の備えに関すること」(23.3%)の順となっています。



性別では、男性で「生きがいに関すること」の割合が高くなっています。

年齢別では、18～29歳で「特に悩みや不安はない」の割合が高い一方で、30～49歳で「子育てに関すること」、30～39歳で「経済的な問題」「隣近所との問題」の割合が高くなっています。また、60～69歳では「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

家族構成別では、夫婦のみで「自分や家族の健康のこと」「自分や家族の老後のこと」、親との二世世代で、「介護のこと」の割合が高くなっています。

なお、前回調査に比べ、今回調査では、18～39歳「介護のこと」の割合が高くなり、年齢層による偏りが小さくなっています

		自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	介護のこと	経済的な問題	災害時の備えに関すること	住宅に関すること	生きがいに関すること	子育てに関すること	隣近所との問題	その他	特に悩みや不安はない
全体(n=678)		59.6%	58.1%	32.3%	31.1%	23.5%	16.5%	13.9%	11.1%	7.1%	1.5%	10.9%
性別	男性(n=299)	61.2%	58.2%	32.1%	32.4%	22.7%	16.1%	20.1%	8.0%	7.0%	1.7%	12.0%
	女性(n=372)	58.1%	58.1%	32.5%	30.6%	24.2%	16.9%	8.9%	13.7%	7.0%	1.3%	10.2%
年齢別	18～29歳(n=73)	47.9%	30.1%	23.3%	32.9%	16.4%	13.7%	9.6%	13.7%	2.7%	1.4%	23.3%
	30～39歳(n=75)	54.7%	56.0%	24.0%	45.3%	18.7%	17.3%	8.0%	37.3%	14.7%	2.7%	6.7%
	40～49歳(n=102)	57.8%	65.7%	29.4%	40.2%	30.4%	21.6%	16.7%	22.5%	5.9%	0.0%	11.8%
	50～59歳(n=110)	54.5%	57.3%	35.5%	40.0%	22.7%	13.6%	11.8%	5.5%	5.5%	0.9%	7.3%
	60～69歳(n=155)	65.2%	69.0%	38.1%	25.8%	22.6%	19.4%	17.4%	2.6%	6.5%	2.6%	9.7%
	70歳以上(n=161)	66.5%	57.1%	34.2%	17.4%	25.5%	13.0%	14.9%	2.5%	7.5%	1.2%	10.6%
家族構成別	ひとり暮らし(n=55)	45.5%	38.2%	23.6%	27.3%	23.6%	14.5%	18.2%	1.8%	7.3%	1.8%	12.7%
	夫婦のみ(n=139)	69.1%	69.1%	36.0%	25.2%	26.6%	13.7%	14.4%	2.9%	7.2%	2.2%	9.4%
	子どもとの二世世代(n=191)	61.3%	59.7%	25.1%	29.3%	23.0%	15.7%	12.6%	18.8%	7.3%	0.5%	8.9%
	親との二世世代(n=146)	55.5%	58.9%	43.2%	37.0%	21.9%	20.5%	17.8%	4.8%	6.2%	0.7%	14.4%
	親と子どもとの三世世代(n=102)	59.8%	55.9%	31.4%	36.3%	22.5%	16.7%	7.8%	18.6%	6.9%	2.0%	7.8%
	その他(n=41)	53.7%	46.3%	29.3%	34.1%	19.5%	17.1%	14.6%	14.6%	7.3%	4.9%	19.5%

同居家族別では、乳幼児・身体・知的・精神などの障がいのある方が同居されている回答者で「経済的な問題」、乳幼児・小学生が同居されている回答者で「子育てに関すること」、65歳以上の方・介護を必要とする方・身体・知的・精神などの障がいのある方が同居されている回答者で「自分や家族の健康のこと」、「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。また、介護を必要とする方・身体・知的・精神などの障がいのある方が同居されている回答者で「介護のこと」の割合が特に高くなっています。

居住年数別では、居住年数が10年未満で「子育てに関すること」、居住年数が10年以上20年未満「災害時の備えに関すること」「特に悩みや不安はない」の割合が高くなっています。

ひとり暮らしの60歳以上及び70歳以上に回答者を絞った場合では、「災害時の備えに関すること」、「生きがいに関すること」、「隣近所との問題」の割合が高い一方で、「特に悩みや不安はない」の割合も高くなっています。

	健康の 自分や家族 のこと	老後の 自分や家族 のこと	介護の こと	経済的 な問題	災害時 の備え に関する こと	住宅に 関する こと	生きが いに関 するこ と	子育て に関す ること	隣近所 との問 題	その他	特に 悩みや 不安は ない	
全体(n=678)	59.6%	58.1%	32.3%	31.1%	23.5%	16.5%	13.9%	11.1%	7.1%	1.5%	10.9%	
同居家族別	乳幼児(小学校入学前) (n=62)	46.8%	41.9%	14.5%	41.9%	14.5%	17.7%	6.5%	38.7%	9.7%	6.5%	12.9%
	小学生(n=81)	54.3%	53.1%	18.5%	33.3%	22.2%	18.5%	11.1%	40.7%	9.9%	3.7%	11.1%
	中学生・高校生 (n=95)	52.6%	48.4%	26.3%	36.8%	27.4%	12.6%	13.7%	24.2%	5.3%	3.2%	12.6%
	65歳以上の方 (n=325)	61.2%	63.4%	37.2%	31.1%	24.3%	17.8%	14.2%	7.4%	6.8%	0.9%	10.2%
	介護を必要とする方 (n=57)	68.4%	63.2%	75.4%	35.1%	21.1%	24.6%	10.5%	7.0%	12.3%	0.0%	7.0%
	身体・知的・精神などの 障がいのある方 (n=57)	78.9%	61.4%	47.4%	40.4%	21.1%	17.5%	14.0%	15.8%	12.3%	0.0%	8.8%
	いずれもない (n=195)	56.4%	56.9%	29.7%	30.3%	23.6%	16.4%	15.9%	4.1%	6.2%	1.0%	12.8%
居住年数	10年未満 (30歳以上) (n=52)	57.7%	57.7%	21.2%	26.9%	23.1%	9.6%	11.5%	21.2%	3.8%	1.9%	9.6%
	10年以上20年未満 (40歳以上) (n=29)	51.7%	55.2%	20.7%	31.0%	31.0%	17.2%	10.3%	17.2%	6.9%	0.0%	17.2%
(ひとり暮らし)	60歳以上(n=37)	37.8%	37.8%	29.7%	16.2%	24.3%	18.9%	21.6%	0.0%	10.8%	2.7%	16.2%
	70歳以上(n=22)	27.3%	27.3%	31.8%	13.6%	31.8%	18.2%	18.2%	0.0%	13.6%	4.5%	13.6%

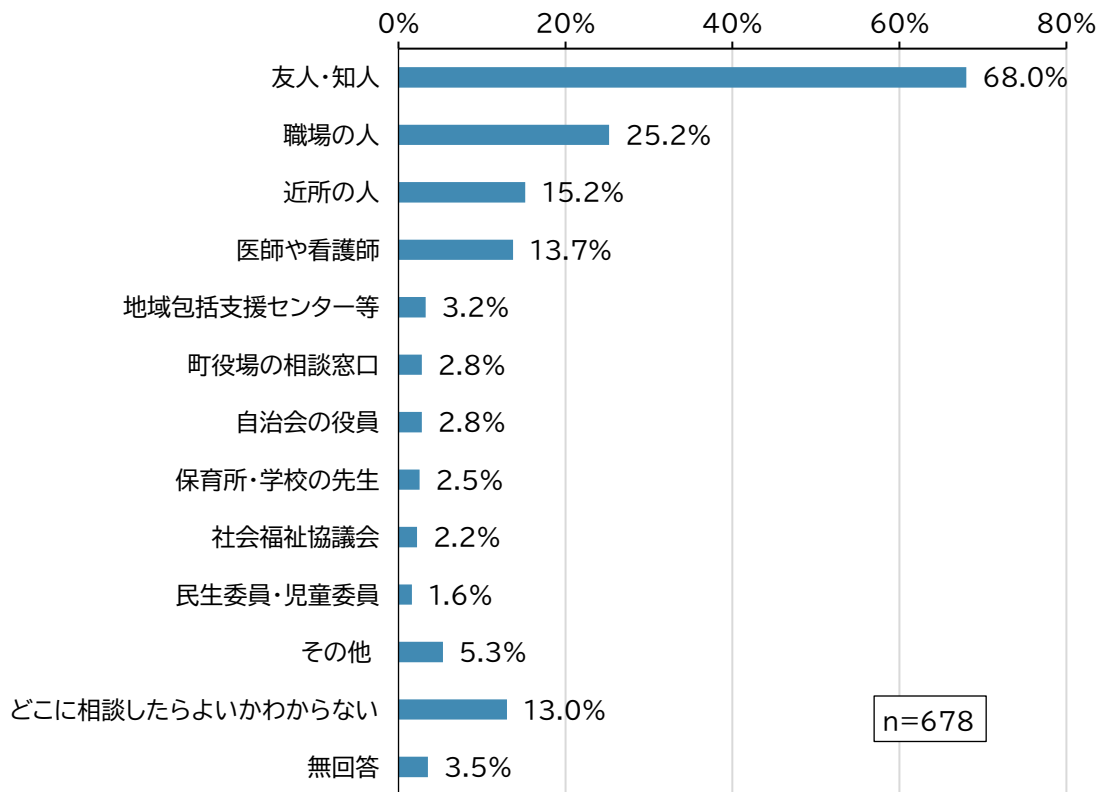
注:表中の■の網掛けは、特定の条件で回答者を絞った割合が全体の割合よりも高いことを示している。  
但し、回答割合が10%以下の項目、n数が10以下の項目、及び「その他」については網掛けしていない。  
(本報告書においては、以下同様)



## 14. 悩みや不安の相談先

問 14 ふだん悩みや不安などがあるときに、家族や親戚以外のどんな人（場所）に相談をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや不安の相談先は、「友人・知人」が68.0%で最も高く、次いで「職場の人」(25.2%)、「近所の人」(15.2%)「医師や看護師」(13.7%)、の順となっています。





性別では、女性で「友人・知人」「職場の人」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、18～29歳で「友人・知人」、30～59歳で「職場の人」、70歳以上で「近所の人」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるほど「医師や看護師」「近所の人」の割合も高くなる傾向がみられます。

家族構成別では、夫婦のみで「近所の人」、子どもとの二世代で、「友人・知人」、親と子供の三世代で「職場の人」の割合が高くなっています。

なお、前回調査と比べ、今回調査では「どこに相談したらよいかわからない」の割合が、どの性別・年齢層でも高くなっています。

		友人・知人	職場の人	近所の人	医師や看護師	地域包括支援センター等	町役場の相談窓口	自治会の役員	保育所・学校の先生	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	その他	どこに相談したらよいかわからない
全体(n=678)		68.0%	25.2%	15.2%	13.7%	3.2%	2.8%	2.8%	2.5%	2.2%	1.6%	5.3%	13.0%
性別	男性(n=299)	59.9%	20.7%	17.1%	16.4%	2.3%	2.7%	4.0%	0.7%	3.7%	1.7%	7.4%	14.0%
	女性(n=372)	74.7%	29.3%	12.9%	11.6%	4.0%	2.7%	1.9%	4.0%	0.5%	1.3%	3.8%	11.8%
年齢別	18～29歳(n=73)	78.1%	24.7%	2.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	5.5%	11.0%
	30～39歳(n=75)	76.0%	38.7%	6.7%	4.0%	2.7%	1.3%	0.0%	10.7%	1.3%	0.0%	8.0%	14.7%
	40～49歳(n=102)	65.7%	48.0%	11.8%	7.8%	1.0%	2.9%	1.0%	5.9%	0.0%	1.0%	1.0%	15.7%
	50～59歳(n=110)	58.2%	37.3%	10.9%	13.6%	1.8%	6.4%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	5.5%	17.3%
	60～69歳(n=155)	66.5%	15.5%	18.7%	18.7%	7.1%	1.9%	3.9%	0.6%	2.6%	1.3%	4.5%	11.0%
	70歳以上(n=161)	69.6%	6.2%	26.1%	22.4%	3.7%	2.5%	6.8%	0.0%	5.6%	4.3%	7.5%	10.6%
家族構成別	ひとり暮らし(n=55)	47.3%	23.6%	21.8%	14.5%	1.8%	5.5%	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%	3.6%	18.2%
	夫婦のみ(n=139)	70.5%	14.4%	23.7%	15.8%	2.9%	5.0%	5.0%	0.0%	2.9%	2.2%	2.9%	11.5%
	子どもとの二世代(n=191)	75.4%	26.7%	14.1%	15.7%	3.7%	1.6%	2.6%	3.7%	2.6%	0.5%	5.8%	9.4%
	親との二世代(n=146)	62.3%	24.7%	11.0%	8.9%	2.7%	1.4%	0.7%	0.0%	1.4%	1.4%	6.2%	18.5%
	親と子どもとの三世代(n=102)	71.6%	41.2%	9.8%	14.7%	2.9%	1.0%	2.0%	6.9%	1.0%	2.0%	3.9%	13.7%
	その他(n=41)	65.9%	19.5%	7.3%	9.8%	7.3%	4.9%	4.9%	2.4%	2.4%	2.4%	14.6%	7.3%

同居家族別では、乳幼児が同居している回答者で「友人・知人」、「保育所・学校の先生」、乳幼児・小学生が同居している回答者で「職場の人」、介護を必要とする方が同居している方で「地域包括支援センター等」、身体・知的・精神などの障がいのある回答者で「医師や看護師」の割合が高くなっています。

居住年数別では、居住年数が10年未満で「職場の人」、10年以上20年未満で「保育所・学校の先生」の割合が高くなっています。

ひとり暮らしの60歳以上及び70歳以上に回答者を絞った場合では、特に70歳以上で「友人・知人」、「近所の人」、「医師や看護師」の割合が高い一方で、「どこに相談したらよいかわからない」の割合も高くなっています。

	友人・知人	職場の人	近所の人	医師や看護師	地域包括支援センター等	町役場の相談窓口	自治会の役員	保育所・学校の先生	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	その他	どこに相談したらよいか わからない	
全体(n=678)	68.0%	25.2%	15.2%	13.7%	3.2%	2.8%	2.8%	2.5%	2.2%	1.6%	5.3%	13.0%	
同居家族	乳幼児(小学校入学前) (n=62)	82.3%	33.9%	8.1%	12.9%	3.2%	3.2%	1.6%	12.9%	3.2%	1.6%	3.2%	8.1%
	小学生(n=81)	76.5%	34.6%	13.6%	12.3%	1.2%	0.0%	1.2%	12.3%	1.2%	0.0%	4.9%	13.6%
	中学生・高校生 (n=95)	71.6%	31.6%	15.8%	15.8%	1.1%	2.1%	1.1%	8.4%	0.0%	1.1%	10.5%	8.4%
	65歳以上の方 (n=325)	67.1%	25.2%	17.2%	16.9%	4.0%	1.5%	3.1%	2.5%	2.8%	2.5%	6.5%	12.3%
	介護を必要とする方 (n=57)	68.4%	29.8%	12.3%	17.5%	15.8%	5.3%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%	5.3%	12.3%
	身体・知的・精神などの 障がいのある方 (n=57)	71.9%	28.1%	14.0%	31.6%	8.8%	5.3%	3.5%	5.3%	5.3%	1.8%	7.0%	14.0%
	いずれもない (n=195)	65.1%	24.6%	13.3%	9.2%	2.1%	5.1%	3.6%	0.0%	1.0%	0.5%	3.1%	13.8%
居住年数	10年未満 (30歳以上) (n=52)	69.2%	38.5%	13.5%	13.5%	1.9%	5.8%	1.9%	9.6%	3.8%	3.8%	3.8%	17.3%
	10年以上20年未満 (40歳以上) (n=29)	69.0%	27.6%	20.7%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%	10.3%	3.4%	3.4%	3.4%	17.2%
(ひとり暮らし)	60歳以上(n=37)	51.4%	10.8%	21.6%	18.9%	2.7%	2.7%	5.4%	0.0%	2.7%	2.7%	5.4%	18.9%
	70歳以上(n=22)	86.4%	18.2%	36.4%	31.8%	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%	4.5%	4.5%	9.1%	31.8%

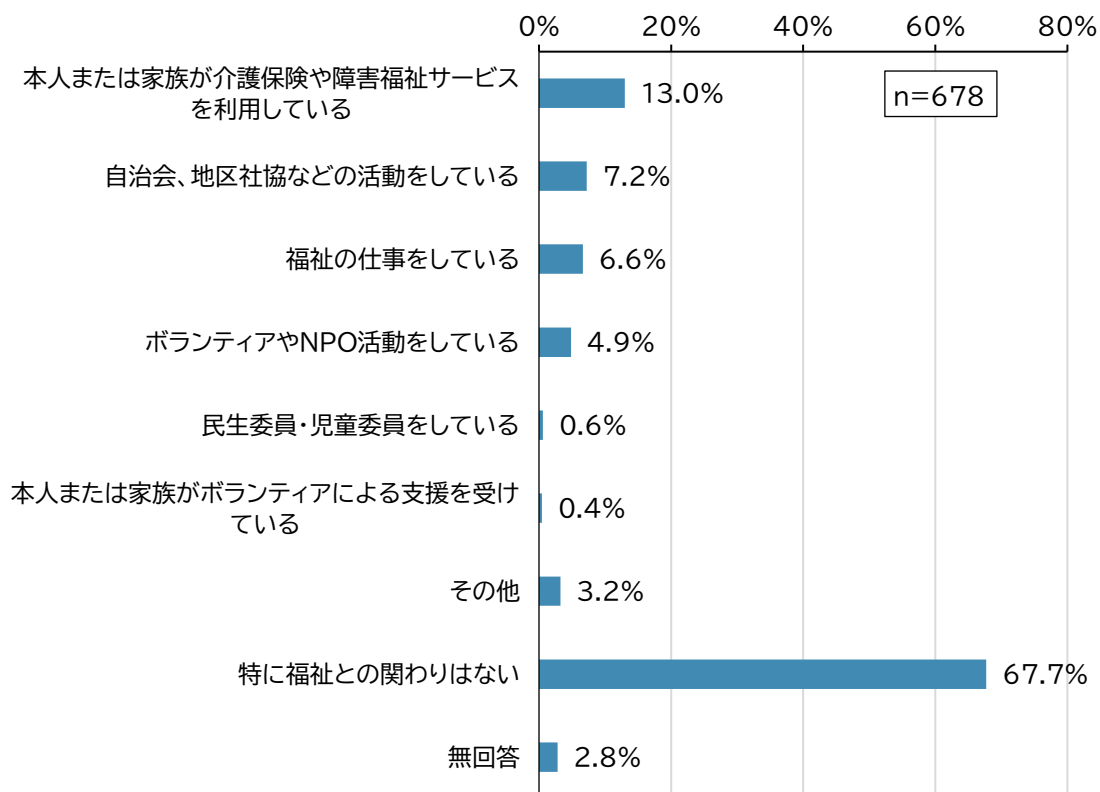
日頃の生活で感じている悩みや不安別では、子育てに関する事で「職場の人」、「保育所・学校の先生」、経済的な問題・住宅関することで「職場の人」、隣近所との問題で「友人・知人」、「医師や看護師」の割合が高くなっています。また、生きがいに関する事で「近所の人」の割合が高い一方で、「どこに相談したらよいかわからない」の割合も高くなっています。

	友人・知人	職場の人	近所の人	医師や看護師	地域包括支援センター等	町役場の相談窓口	自治会の役員	保育所・学校の先生	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	その他	どこに相談したらよいかわからない	
全体(n=678)	68.0%	25.2%	15.2%	13.7%	3.2%	2.8%	2.8%	2.5%	2.2%	1.6%	5.3%	13.0%	
悩みや不安別	自分や家族の健康のこと(n=404)	71.0%	26.7%	18.3%	19.3%	4.5%	3.0%	3.5%	2.5%	3.0%	2.2%	4.2%	13.9%
	自分や家族の老後のこと(n=394)	70.1%	28.4%	17.8%	15.0%	3.0%	3.0%	3.8%	2.3%	2.8%	2.3%	4.1%	14.0%
	子育てに関すること(n=75)	74.7%	34.7%	14.7%	14.7%	1.3%	2.7%	2.7%	16.0%	1.3%	1.3%	6.7%	16.0%
	介護のこと(n=219)	66.7%	25.6%	16.9%	19.6%	6.8%	5.0%	3.7%	1.4%	4.1%	4.6%	5.5%	17.8%
	経済的な問題(n=211)	66.8%	38.9%	13.7%	14.2%	2.8%	3.3%	3.8%	3.8%	1.4%	1.4%	5.2%	18.5%
	生きがいに関すること(n=94)	61.7%	25.5%	24.5%	19.1%	5.3%	2.1%	3.2%	0.0%	6.4%	3.2%	1.1%	22.3%
	隣近所との問題(n=48)	77.1%	27.1%	18.8%	20.8%	4.2%	6.3%	6.3%	6.3%	4.2%	4.2%	2.1%	14.6%
	災害時の備えに関すること(n=158)	71.5%	30.4%	20.9%	17.7%	5.1%	6.3%	5.1%	3.2%	4.4%	3.8%	4.4%	11.4%
	住宅に関すること(n=112)	68.8%	37.5%	17.0%	18.8%	1.8%	2.7%	2.7%	3.6%	0.9%	1.8%	6.3%	15.2%
	その他(n=10)	90.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	特に悩みや不安はない(n=74)	60.8%	12.2%	10.8%	6.8%	0.0%	2.7%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	12.2%	4.1%

## 15. 福祉との関わりについて

問 15 現在、あなたと福祉との関わりは、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉との関わりについては、「特に福祉との関わりはない」が 67.7%で最も高くなりましたが、「本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している」が 13.0%、「自治会、地区社協などの活動をしている」が 7.2%などとなっています。



性別では、男性で「自治会、地区社協などの活動をしている」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、60～69歳で「本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している」、70歳以上で「自治会、地区社協などの活動をしている」、割合が他の年齢層に比べて高く、一方、18～39歳で「特に福祉との関わりはない」の割合が高くなっています。

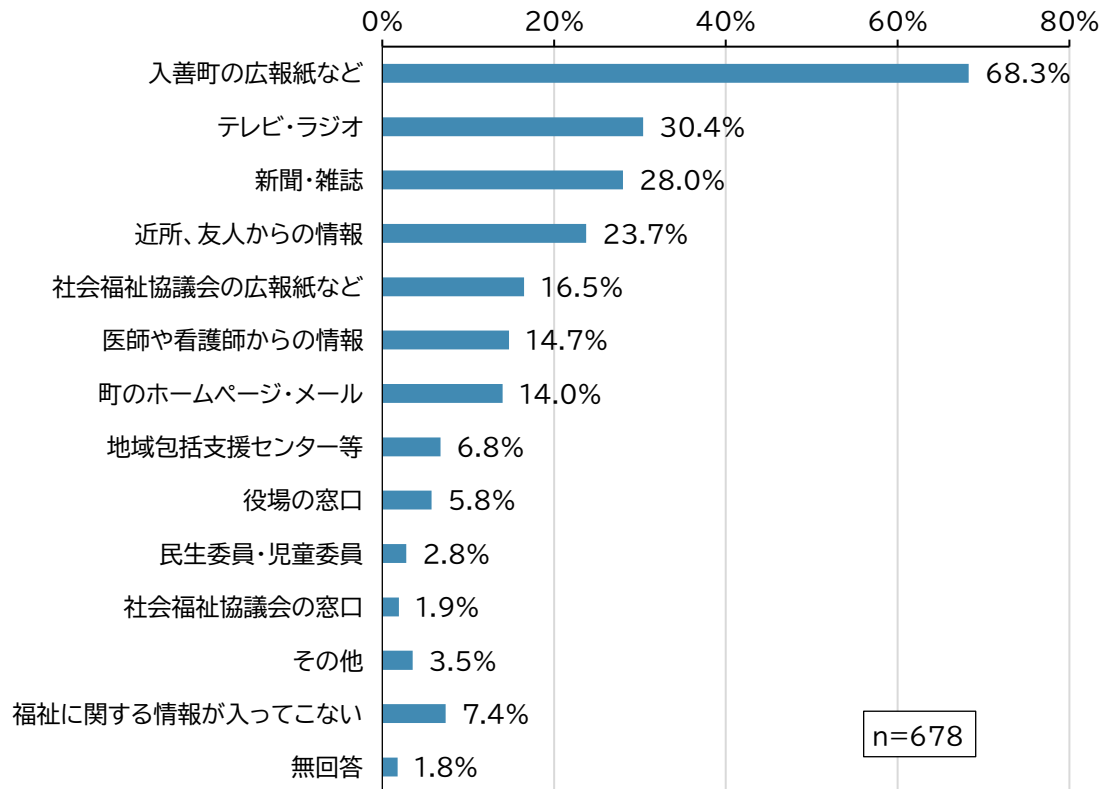
なお、前回調査と比べ、今回調査での結果に大きな変化は見られませんでした。

		本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している	自治会、地区社協などの活動をしている	福祉の仕事をしている	ボランティアやNPO活動をしている	民生委員・児童委員をしている	本人または家族がボランティアによる支援を受けている	その他	特に福祉との関わりはない
全体(n=678)		13.0%	7.2%	6.6%	4.9%	0.6%	0.4%	3.2%	67.7%
性別	男性(n=299)	11.0%	11.4%	3.7%	6.4%	0.3%	1.0%	4.0%	68.2%
	女性(n=372)	14.5%	4.0%	9.1%	3.8%	0.8%	0.0%	2.7%	67.2%
年齢別	18～29歳(n=73)	8.2%	1.4%	8.2%	2.7%	0.0%	0.0%	1.4%	78.1%
	30～39歳(n=75)	10.7%	1.3%	5.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	81.3%
	40～49歳(n=102)	8.8%	1.0%	6.9%	2.0%	1.0%	0.0%	3.9%	75.5%
	50～59歳(n=110)	13.6%	4.5%	7.3%	2.7%	0.0%	0.0%	4.5%	69.1%
	60～69歳(n=155)	19.4%	12.3%	7.1%	6.5%	1.3%	1.3%	3.9%	58.1%
	70歳以上(n=161)	11.8%	13.7%	5.6%	9.9%	0.0%	0.6%	3.1%	60.9%

## 16. 役立っていると思う健康や福祉に関する情報

問 16 健康や福祉に関する情報を得るうえで、役に立っていると感じるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

役立っていると思う健康や福祉に関する情報は、「入善町の広報紙など」が68.3%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」(30.4%)、「新聞・雑誌」(28.0%)、「近所、友人からの情報」(23.7%)、「社会福祉協議会の広報紙など」(16.5%)の順となっています。



地区別では、小摺戸地区で「近所、友人からの情報」「社会福祉協議会の広報紙など」「役場の窓口」、横山地区で「入善町の広報紙など」「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌」、舟見地区で「医師や看護師からの情報」「地域包括支援センター等」の割合が比較的高くなっています。

性別では、男性で「社会福祉協議会の広報紙など」、女性で「近所、友人からの情報」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、40～49歳で「町のホームページ・メール」、50～59歳で「入善町の広報紙など」、70歳以上で「近所、友人からの情報」「新聞・雑誌」「テレビ・ラジオ」の割合が高くなっています。一方で、年齢が若くなるほど「福祉に関する情報が入ってこない」の割合が高くなっています。

なお、前回調査と比べ、今回調査では「福祉に関する情報が入ってこない」の割合がどの年齢層でも高くなっています。

		入善町の広報紙など	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	近所、友人からの情報	社会福祉協議会の広報紙など	医師や看護師からの情報	町のホームページ・メール	地域包括支援センター等	役場の窓口	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の窓口	その他	福祉に関する情報が入ってこない
全体(n=678)		68.3%	30.4%	28.0%	23.7%	16.5%	14.7%	14.0%	6.8%	5.8%	2.8%	1.9%	3.5%	7.4%
地区別	入善地区(n=162)	67.9%	28.4%	25.3%	17.3%	15.4%	13.0%	16.0%	8.6%	7.4%	3.7%	3.1%	1.9%	7.4%
	上原地区(n=81)	65.4%	29.6%	25.9%	27.2%	16.0%	18.5%	12.3%	7.4%	7.4%	1.2%	2.5%	6.2%	6.2%
	青木地区(n=48)	64.6%	29.2%	25.0%	20.8%	8.3%	18.8%	12.5%	8.3%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	10.4%
	飯野地区(n=144)	69.4%	27.1%	30.6%	29.2%	16.0%	11.1%	14.6%	4.9%	4.9%	2.1%	1.4%	2.8%	9.0%
	小摺戸地区(n=35)	77.1%	34.3%	28.6%	31.4%	37.1%	17.1%	14.3%	5.7%	14.3%	5.7%	0.0%	8.6%	2.9%
	新屋地区(n=55)	72.7%	27.3%	29.1%	30.9%	18.2%	9.1%	7.3%	3.6%	5.5%	5.5%	1.8%	3.6%	5.5%
	柵山地区(n=65)	60.0%	30.8%	26.2%	20.0%	7.7%	16.9%	20.0%	6.2%	0.0%	0.0%	1.5%	4.6%	10.8%
	横山地区(n=36)	77.8%	41.7%	38.9%	13.9%	19.4%	13.9%	8.3%	2.8%	8.3%	0.0%	2.8%	5.6%	8.3%
	舟見地区(n=38)	63.2%	39.5%	31.6%	21.1%	26.3%	28.9%	7.9%	13.2%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	2.6%
	野中地区(n=10)	90.0%	50.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
性別	男性(n=299)	70.2%	31.4%	25.1%	19.7%	22.7%	17.4%	15.7%	6.4%	6.7%	2.3%	3.7%	2.7%	9.7%
	女性(n=372)	67.5%	29.3%	29.8%	26.9%	11.6%	12.4%	12.9%	7.3%	4.8%	2.7%	0.5%	4.3%	5.6%
年齢別	18～29歳(n=73)	53.4%	27.4%	16.4%	9.6%	5.5%	2.7%	8.2%	5.5%	2.7%	0.0%	0.0%	5.5%	19.2%
	30～39歳(n=75)	60.0%	24.0%	22.7%	25.3%	6.7%	12.0%	14.7%	5.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	14.7%
	40～49歳(n=102)	70.6%	18.6%	19.6%	13.7%	10.8%	6.9%	20.6%	3.9%	3.9%	1.0%	1.0%	1.0%	7.8%
	50～59歳(n=110)	74.5%	25.5%	18.2%	20.0%	18.2%	11.8%	17.3%	4.5%	8.2%	0.9%	0.9%	5.5%	6.4%
	60～69歳(n=155)	72.9%	32.9%	28.4%	25.8%	22.6%	20.6%	14.2%	12.3%	6.5%	3.9%	3.9%	2.6%	3.9%
	70歳以上(n=161)	68.9%	42.9%	47.2%	36.0%	23.0%	22.4%	9.9%	6.2%	5.0%	6.2%	3.1%	2.5%	2.5%

## 17. ボランティア活動への興味

問 17 あなたは、ボランティア活動に興味がありますか。(1つに○)

ボランティア活動への興味については、「興味はある」が 41.6%、「興味はない」が 51.6%となっています。

地区別では、小摺戸地区で「興味はある」、青木地区・横山地区で「興味はない」の割合が比較的高くなっています。

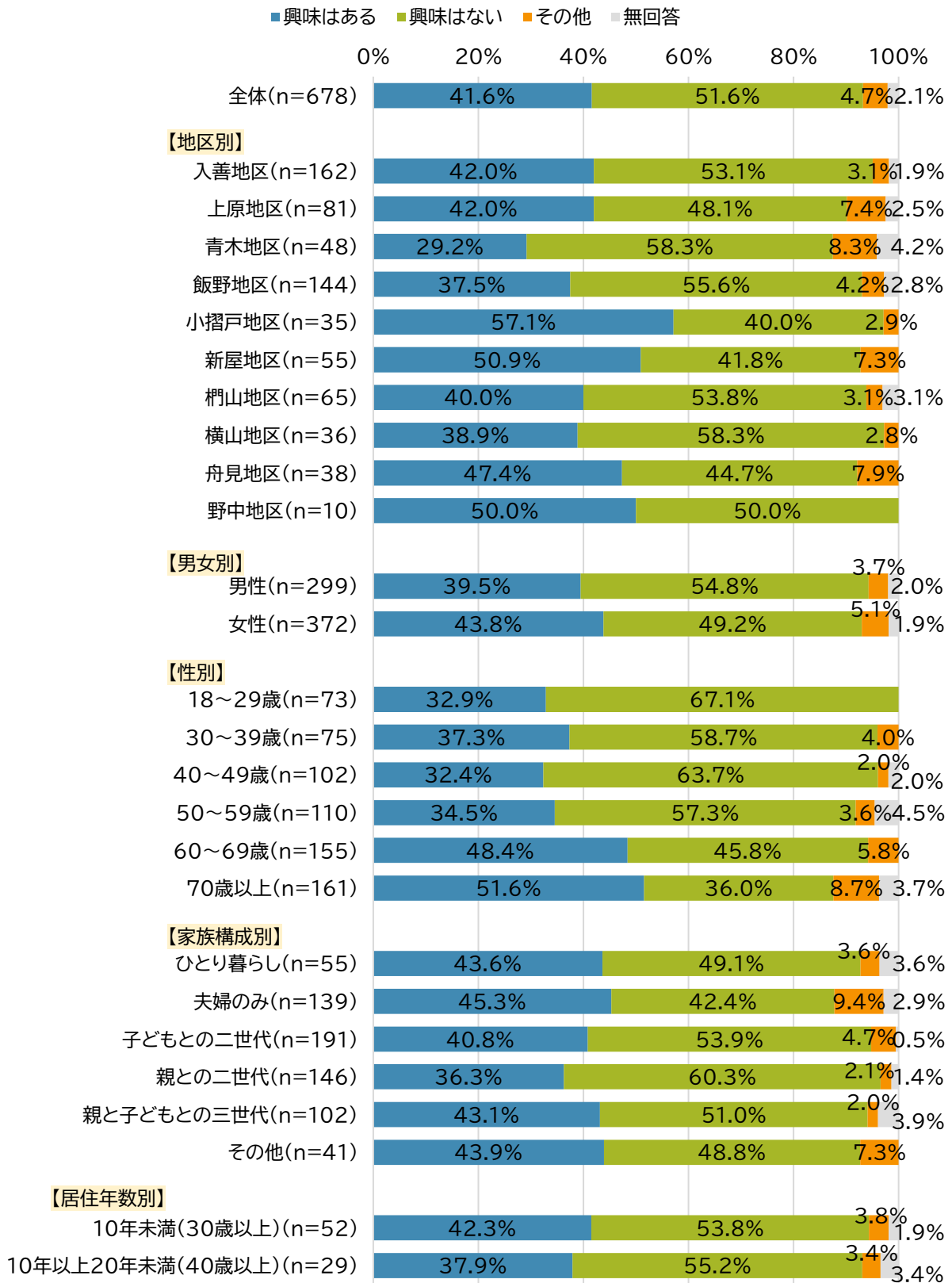
性別では、女性で「興味はある」の割合がやや高く、年齢別では、18～59 歳「興味はない」の割合が 60 歳以上に比べ高くなっています。

家族構成別では、夫婦のみで「興味はある」の割合が若干高い一方で、親と二世帯で「興味はない」の割合が高くなっています。

居住年数別では、居住年数が 10 年未満及び、居住年数が 10 年以上 20 年未満で、全体の割合と大きな差は見られませんでした。

なお、前回調査と比べ、今回調査では、「興味はない」の割合がどの地区・性別・年齢層でも高くなっています。





## 18. ボランティア活動への参加状況

問 18 あなたは、ボランティア活動に参加していますか。(1つに○)

ボランティア活動への参加状況は、「機会があれば参加したい」が 38.8%で、「現在は参加していないが、是非参加したい」(4.1%)、「現在参加しており、今後も続けたい」(8.7%)を合わせると、『参加したい(合計)』は 51.6%と過半数となっています。

地区別では、小摺戸地区・横山地区で「現在参加しており、今後も続けたい」、小摺戸地区・新屋地区で「機会があれば参加したい」の割合が比較的高くなっています。

性別では、男性で「現在参加しており、今後も続けたい」、女性で「機会があれば参加したい」の割合がそれぞれやや高くなっています。

年齢別では、70歳以上で「現在参加しており、今後も続けたい」の割合が比較的高くなっています。

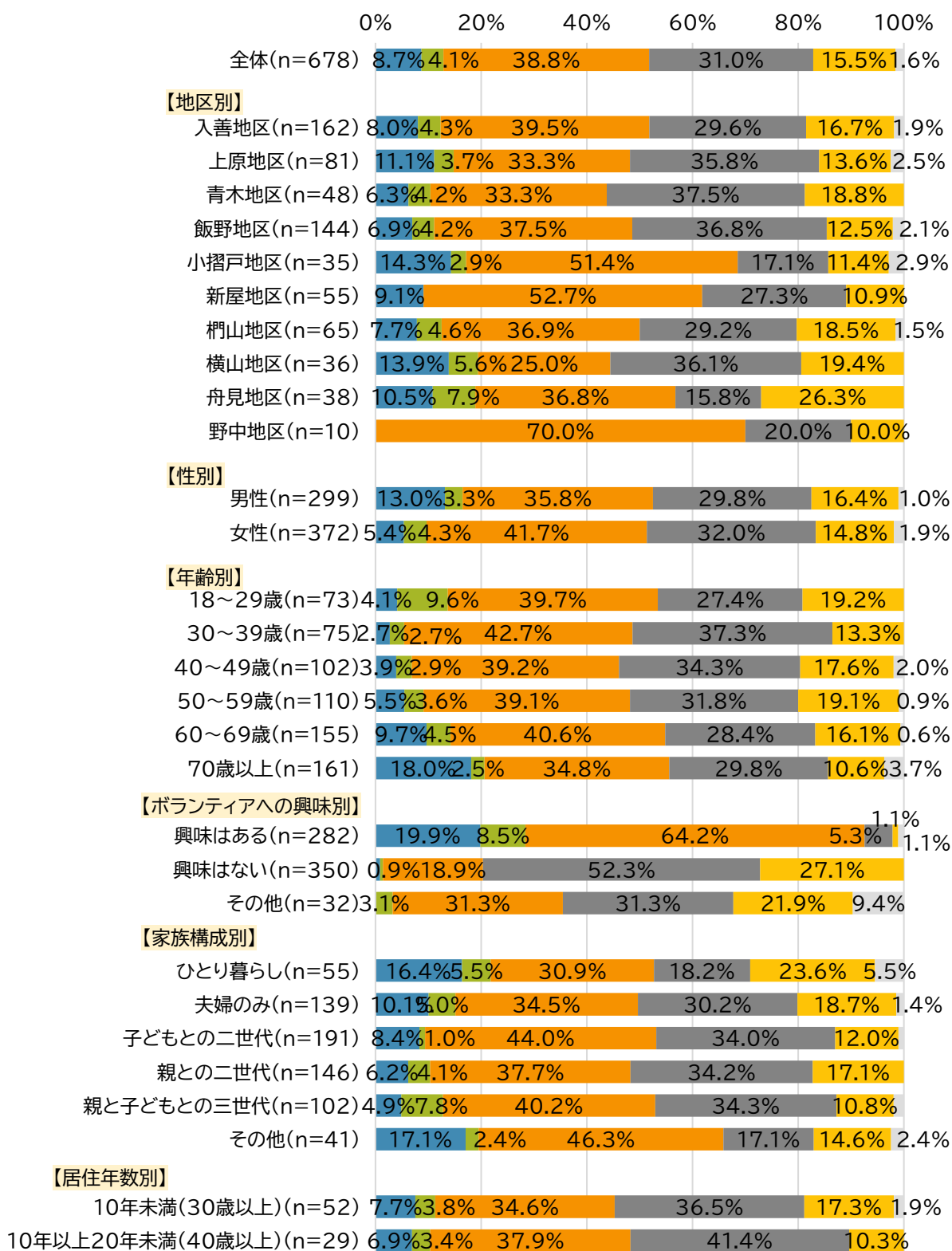
ボランティアへの興味別では、「興味はある」層では「現在参加しており、今後も続けたい」「機会があれば参加したい」の割合も高い一方で、「興味はない」層では『参加したくない』の割合が高くなっています。

家族構成別では、ひとり暮らしで「現在参加しており、今後も続けたい」の割合が高い一方で、「参加したくない」の割合も高くなっています。

居住年数別では、居住年数が10年以上20年未満で、「あまり参加したくない」の割合が高くなっています。

なお、前回調査に比べ、今回調査では「あまり参加したくない」「参加したくない」といったボランティアへの参加拒否の意向がどの地区・性別・年齢層でも高くなっています。

- 現在参加しており、今後も続けたい
- 現在は参加していないが、是非参加したい
- 機会があれば参加したい
- あまり参加したくない
- 参加したくない
- 無回答

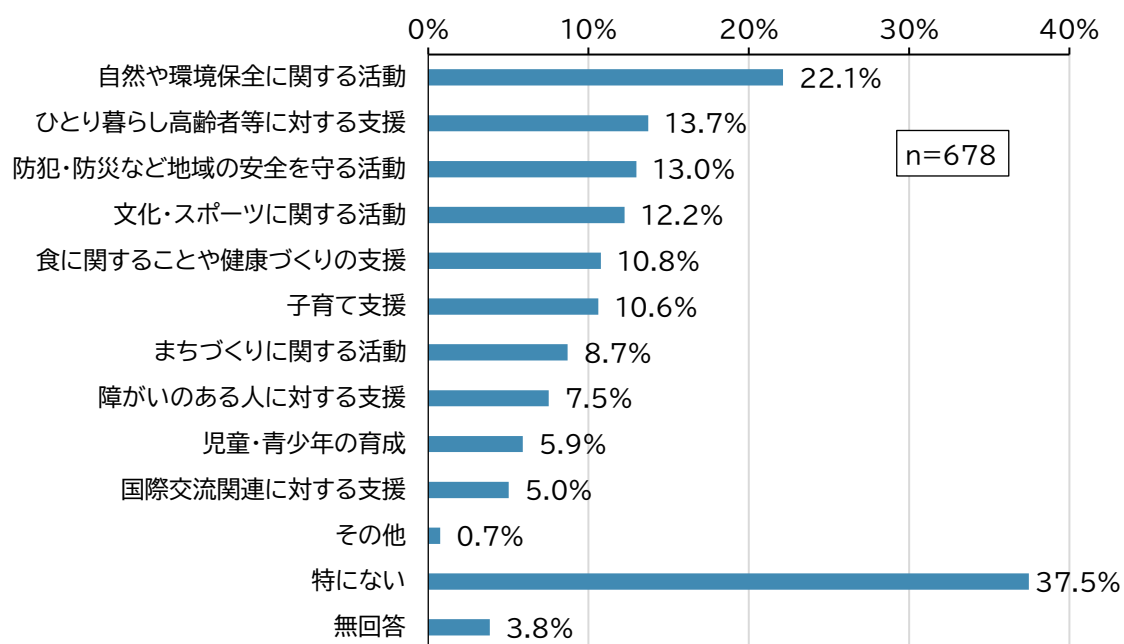


## 19. ボランティア活動への参加状況

問 19 今後、参加したいと思うボランティア活動などがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したいボランティア活動等については、「特にない」(37.5%)が最も高いものの、「自然や環境保全に関する活動」(22.1%)、「ひとり暮らし高齢者等に対する支援」(13.7%)、「防犯・防災など地域の安全を守る活動」(13.0%)、「文化・スポーツに関する活動」(12.2%)の順となっています。



性別では、男性で「自然や環境保全に関する活動」、「防犯・防災など地域の安全を守る活動」、女性で「子育て支援」の割合が、それぞれ高くなっています。

年齢別では、30～39歳で「子育て支援」の割合が比較的高くなっています。また、18～29歳で「特にない」の割合が高くなっています。

家族構成別では、子どもとの二世世代で「子育て支援」、親と子どもとの三世代で「文化・スポーツに関する活動」の割合が高い一方で、ひとり暮らしで「特にない」の割合が高くなっています。

なお、前回調査に比べ、今回調査では「特にない」の割合がどの性別・年齢層でも高くなっています。

		自然や環境保全に関する活動	ひとり暮らし高齢者等に対する支援	防犯・防災など地域の安全を守る活動	文化・スポーツに関する活動	食に関することや健康づくりの支援	子育て支援	まちづくりに関する活動	障がいのある人に対する支援	児童・青少年の育成	国際交流関連に対する支援	その他	特にない
全体(n=678)		22.1%	13.7%	13.0%	12.2%	10.8%	10.6%	8.7%	7.5%	5.9%	5.0%	0.7%	37.5%
性別	男性(n=299)	30.1%	12.4%	20.7%	15.4%	6.0%	4.0%	12.4%	4.0%	7.0%	4.0%	0.3%	40.5%
	女性(n=372)	16.1%	14.8%	7.0%	9.9%	14.5%	16.1%	5.9%	10.5%	5.1%	5.9%	1.1%	34.7%
年齢別	18～29歳(n=73)	11.0%	6.8%	2.7%	17.8%	8.2%	13.7%	11.0%	6.8%	9.6%	12.3%	0.0%	49.3%
	30～39歳(n=75)	13.3%	10.7%	10.7%	10.7%	13.3%	21.3%	9.3%	5.3%	8.0%	9.3%	0.0%	37.3%
	40～49歳(n=102)	13.7%	7.8%	14.7%	16.7%	9.8%	19.6%	7.8%	7.8%	10.8%	5.9%	1.0%	33.3%
	50～59歳(n=110)	25.5%	11.8%	17.3%	20.0%	15.5%	5.5%	7.3%	8.2%	3.6%	7.3%	0.9%	34.5%
	60～69歳(n=155)	28.4%	16.1%	10.3%	9.0%	11.6%	8.4%	9.7%	9.0%	5.8%	1.9%	1.3%	39.4%
	70歳以上(n=161)	28.6%	20.5%	17.4%	5.6%	6.8%	4.3%	8.1%	6.8%	1.9%	0.6%	0.6%	35.4%
家族構成別	ひとり暮らし(n=55)	20.0%	18.2%	5.5%	9.1%	12.7%	5.5%	9.1%	7.3%	1.8%	5.5%	1.8%	43.6%
	夫婦のみ(n=139)	23.0%	15.8%	13.7%	7.9%	11.5%	6.5%	6.5%	5.0%	0.7%	2.2%	2.2%	39.6%
	子どもとの二世世代(n=191)	22.5%	11.5%	13.1%	8.9%	7.3%	15.7%	6.3%	8.4%	5.8%	4.2%	0.0%	37.7%
	親との二世世代(n=146)	17.8%	9.6%	13.7%	15.1%	8.9%	5.5%	12.3%	5.5%	9.6%	6.2%	0.0%	42.5%
	親と子どもとの三世代(n=102)	26.5%	15.7%	11.8%	20.6%	15.7%	14.7%	7.8%	9.8%	9.8%	8.8%	1.0%	28.4%
	その他(n=41)	26.8%	19.5%	22.0%	17.1%	14.6%	14.6%	17.1%	14.6%	4.9%	4.9%	0.0%	29.3%

ボランティアへの興味別では、興味はあるで「自然や環境保全に関する活動」、「ひとり暮らし高齢者等に対する支援」の割合が特に高い一方で、興味はないで「特にない」の割合が高くなっています。

居住年数別では、居住年数が10年以上20年未満で「ひとり暮らし高齢者等に対する支援」「防犯・防災など地域の安全を守る活動」「文化・スポーツに関する活動」の割合が高い一方で、居住年数が10年未満で「特にない」の割合が高くなっています。

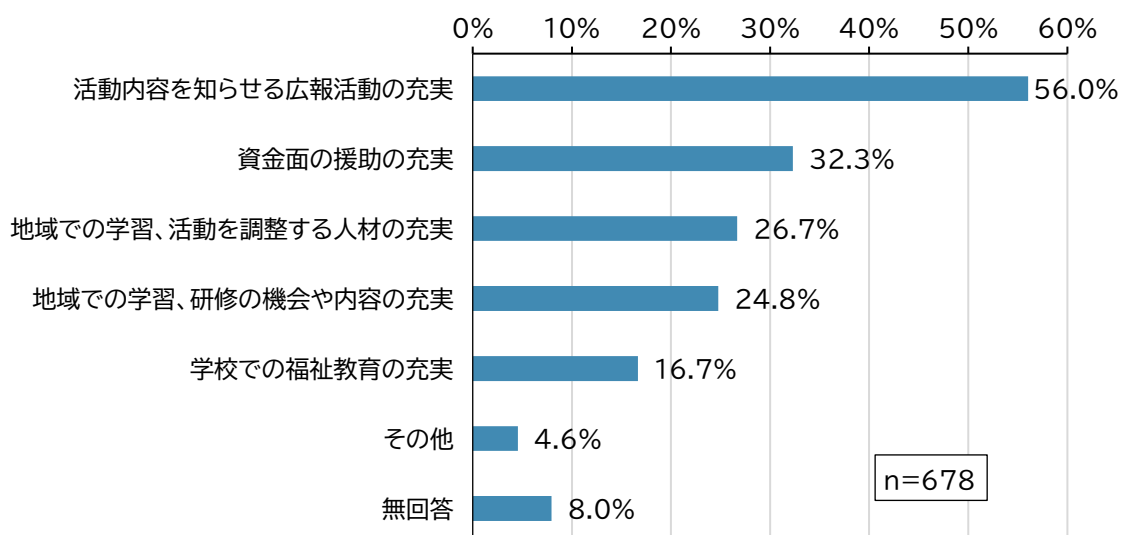
		自然や環境保全に関する活動	ひとり暮らし高齢者等に対する支援	防犯・防災など地域の安全を守る活動	文化・スポーツに関する活動	食に関することや健康づくりの支援	子育て支援	まちづくりに関する活動	障がいのある人に対する支援	児童・青少年の育成	国際交流関連に対する支援	その他	特にない
全体(n=678)		22.1%	13.7%	13.0%	12.2%	10.8%	10.6%	8.7%	7.5%	5.9%	5.0%	0.7%	37.5%
ボランティアへの興味別	興味はある(n=282)	38.3%	27.0%	21.3%	19.9%	16.3%	16.0%	12.8%	15.2%	10.6%	8.5%	1.1%	5.7%
	興味はない(n=350)	9.4%	2.9%	7.4%	6.9%	6.0%	6.9%	5.4%	1.7%	2.0%	2.9%	0.3%	63.7%
	その他(n=32)	18.8%	21.9%	6.3%	6.3%	12.5%	6.3%	9.4%	3.1%	9.4%	0.0%	3.1%	43.8%
居住年数	10年未満(30歳以上)(n=52)	25.0%	9.6%	9.6%	9.6%	13.5%	11.5%	1.9%	5.8%	3.8%	0.0%	0.0%	42.3%
	10年以上20年未満(40歳以上)(n=29)	6.9%	20.7%	24.1%	24.1%	10.3%	17.2%	10.3%	6.9%	10.3%	3.4%	0.0%	24.1%



## 20. ボランティア等活発化のために重要と思うこと

問 20 ボランティアや地域活動をより活発にしていこううえで重要なことは、どのようなことだと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

ボランティア等活発化のため重要と思うことは、「活動内容を知らせる広報活動の充実」が56.0%で最も高く、次いで「資金面の援助の充実」(32.3%)、「地域での学習、活動を調整する人材の充実」(26.7%)、「地域での学習、研修の機会や内容の充実」(24.8%)、の順となっています。





地区別では、小摺戸地区で「地域での学習、研修の機会や内容の充実」、舟見地区で「地域での学習、活動を調整する人材の充実」の割合が比較的高くなっています。

性別では、女性で「学校での福祉教育の充実」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、年齢が若くなるほどに「学校での福祉教育の充実」の割合が高くなります。また、50～59歳で「資金面の援助の充実」の割合が高くなっています。

なお、前回調査に比べ、今回調査では「資金面の援助の充実」の割合がほとんどの地区・性別・年齢層で高くなっています。

		活動内容を知らせる広報 活動の充実	資金面の援助の充実	地域での学習、活動を調 整する人材の充実	地域での学習、研修の機 会や内容の充実	学校での福祉教育の充実	その他
全体(n=678)		56.0%	32.3%	26.7%	24.8%	16.7%	4.6%
地区別	入善地区(n=162)	53.1%	34.0%	30.9%	25.3%	22.8%	4.3%
	上原地区(n=81)	46.9%	28.4%	28.4%	32.1%	18.5%	3.7%
	青木地区(n=48)	62.5%	37.5%	31.3%	14.6%	12.5%	2.1%
	飯野地区(n=144)	59.0%	31.3%	20.8%	18.1%	11.1%	5.6%
	小摺戸地区(n=35)	54.3%	34.3%	28.6%	34.3%	0.0%	8.6%
	新屋地区(n=55)	63.6%	34.5%	18.2%	27.3%	16.4%	5.5%
	栲山地区(n=65)	58.5%	27.7%	29.2%	27.7%	21.5%	6.2%
	横山地区(n=36)	55.6%	38.9%	11.1%	27.8%	19.4%	2.8%
	舟見地区(n=38)	60.5%	31.6%	36.8%	26.3%	15.8%	2.6%
	野中地区(n=10)	50.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%
性別	男性(n=299)	55.2%	35.8%	29.8%	26.4%	11.4%	4.0%
	女性(n=372)	57.3%	30.1%	24.5%	23.9%	21.0%	5.1%
年齢別	18～29歳(n=73)	49.3%	34.2%	21.9%	21.9%	30.1%	2.7%
	30～39歳(n=75)	54.7%	32.0%	24.0%	16.0%	24.0%	10.7%
	40～49歳(n=102)	53.9%	38.2%	29.4%	27.5%	16.7%	3.9%
	50～59歳(n=110)	53.6%	43.6%	30.9%	26.4%	14.5%	3.6%
	60～69歳(n=155)	62.6%	32.3%	27.1%	27.7%	13.5%	4.5%
	70歳以上(n=161)	57.1%	20.5%	24.8%	24.8%	11.8%	3.7%

家族構成別では、親との二世代で「学校での福祉教育の充実」、親と子どもとの三世代で「活動内容を知らせる広報活動の充実」の割合が高い一方で、ひとり暮らしで「特にない」の割合が高くなっています。

居住年数別では、居住年数が10年未満で「活動内容を知らせる広報活動の充実」、居住年数が10年以上20年未満で「活動内容を知らせる広報活動の充実」「資金面の援助の充実」「地域での学習、活動を調整する人材の充実」「地域での学習、研修の機会や内容の充実」の割合が高くなっています。

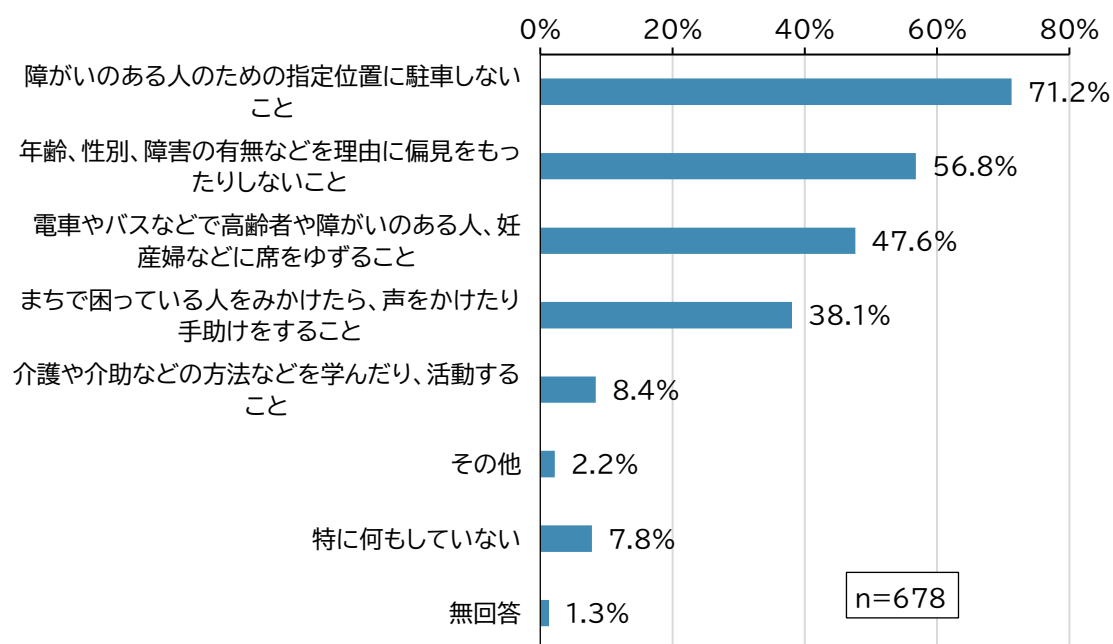
		活動内容を知らせる広報活動の充実	資金面の援助の充実	地域での学習、活動を調整する人材の充実	地域での学習、研修の機会や内容の充実	学校での福祉教育の充実	その他
全体(n=678)		56.0%	32.3%	26.7%	24.8%	16.7%	4.6%
家族構成別	ひとり暮らし(n=55)	52.7%	21.8%	25.5%	18.2%	5.5%	5.5%
	夫婦のみ(n=139)	64.0%	28.8%	25.2%	23.0%	15.1%	3.6%
	子どもとの二世代(n=191)	50.8%	33.5%	22.5%	22.0%	16.8%	3.7%
	親との二世代(n=146)	51.4%	36.3%	27.4%	26.7%	21.9%	6.2%
	親と子どもとの三世代(n=102)	64.7%	34.3%	29.4%	29.4%	17.6%	4.9%
	その他(n=41)	53.7%	34.1%	43.9%	36.6%	14.6%	4.9%
居住年数	10年未満(30歳以上)(n=52)	69.2%	19.2%	19.2%	19.2%	15.4%	7.7%
	10年以上20年未満(40歳以上)(n=29)	62.1%	58.6%	37.9%	31.0%	20.7%	0.0%



## 21. 高齢者や障がい者に心がけていること

問 21 日頃、高齢者や障がいのある人などに対して心がけていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者や障がい者に心がけていることは、「障がいのある人のための指定位置に駐車しないこと」が71.2%で最も高く、次いで「年齢、性別、障がいの有無などを理由に偏見をもったりしないこと」(56.8%)、「電車やバスなどで高齢者や障がいのある人、妊産婦などに席をゆずること」(47.6%)、「まちで困っている人をみかけたら、声をかけたり手助けをすること」(38.1%)の順となっています。



性別では、女性で「まちで困っている人をみかけたら、声をかけたり手助けをすること」の割合が高くなっています。

年齢別では、18～29歳で「電車やバスなどで高齢者や障がいのある人、妊産婦などに席をゆずること」、60～69歳で「障がいのある人のための指定位置に駐車しないこと」の割合がそれぞれ高くなっています。

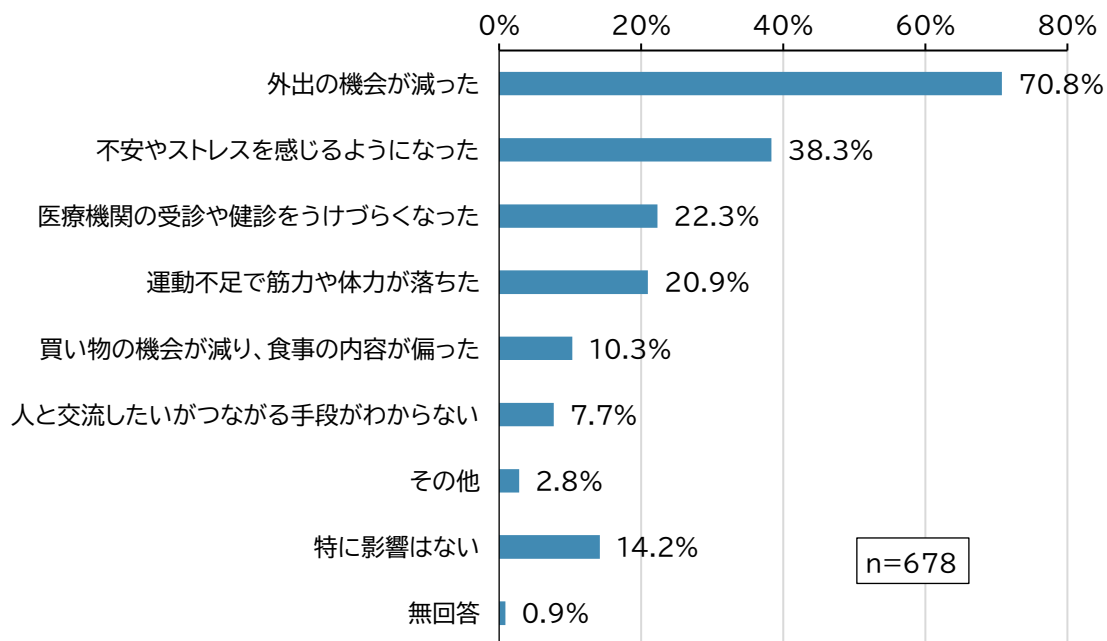
なお、前回調査と比べ、今回調査では、18～39歳で「まちで困っている人をみかけたら、声をかけたり手助けをすること」の割合が高くなっています。

		障がいのある人のための指定位置に駐車しないこと	年齢、性別、障害の有無などを理由に偏見をもったりしないこと	電車やバスなどで高齢者や障がいのある人、妊産婦などに席をゆずること	まちで困っている人をみかけたら、声をかけたり手助けをすること	介護や介助などの方法などを学んだり、活動すること	その他	特に何もしていない
全体(n=678)		71.2%	56.8%	47.6%	38.1%	8.4%	2.2%	7.8%
性別	男性(n=299)	67.2%	54.2%	42.5%	31.1%	6.0%	3.0%	12.0%
	女性(n=372)	74.7%	58.6%	52.2%	43.8%	10.2%	1.6%	4.6%
年齢別	18～29歳(n=73)	57.5%	56.2%	67.1%	39.7%	9.6%	1.4%	5.5%
	30～39歳(n=75)	72.0%	54.7%	49.3%	41.3%	9.3%	2.7%	6.7%
	40～49歳(n=102)	77.5%	60.8%	53.9%	36.3%	7.8%	1.0%	4.9%
	50～59歳(n=110)	70.0%	51.8%	49.1%	38.2%	7.3%	0.9%	9.1%
	60～69歳(n=155)	84.5%	60.6%	44.5%	37.4%	7.7%	3.2%	5.2%
	70歳以上(n=161)	62.1%	55.3%	36.6%	37.9%	9.3%	3.1%	13.0%

## 22. 新型コロナウイルスの影響について

問 22 新型コロナウイルス感染症の流行で、生活の困りごとはありますか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルスの影響については、「外出の機会が減った」が70.8%で最も高く、次いで「不安やストレスを感じるようになった」(38.3%)、「医療機関の受診や健診をうけづらくなった」(22.3%)、「運動不足で筋力や体力が落ちた」(20.9%)の順となっています。



性別では、女性で「不安やストレスを感じるようになった」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、18～29歳で「運動不足で筋力や体力が落ちた」「人と交流したいがつながる手段がわからない」、30～39歳で「外出の機会が減った」「医療機関の受診や健診をうけづらくなった」の割合がそれぞれ高くなっています。

		外出の機会が減った	不安やストレスを感じるようになった	医療機関の受診や健診をうけづらくなった	運動不足で筋力や体力が落ちた	買い物機会の減り、食事の内容が偏った	人と交流したいがつながる手段がわからない	その他	特に影響はない
全体(n=678)		70.8%	38.3%	22.3%	20.9%	10.3%	7.7%	2.8%	14.2%
性別	男性(n=299)	66.9%	31.4%	19.4%	17.4%	9.7%	6.0%	2.3%	17.7%
	女性(n=372)	74.2%	44.4%	25.0%	23.7%	10.8%	9.1%	3.2%	11.0%
年齢別	18～29歳(n=73)	64.4%	34.2%	15.1%	31.5%	11.0%	12.3%	2.7%	13.7%
	30～39歳(n=75)	74.7%	37.3%	40.0%	24.0%	4.0%	6.7%	4.0%	12.0%
	40～49歳(n=102)	70.6%	45.1%	25.5%	16.7%	7.8%	7.8%	2.9%	12.7%
	50～59歳(n=110)	67.3%	38.2%	26.4%	21.8%	10.9%	7.3%	1.8%	12.7%
	60～69歳(n=155)	72.3%	36.1%	20.0%	18.7%	7.1%	8.4%	3.2%	17.4%
	70歳以上(n=161)	73.3%	38.5%	14.9%	18.6%	17.4%	5.6%	2.5%	14.3%



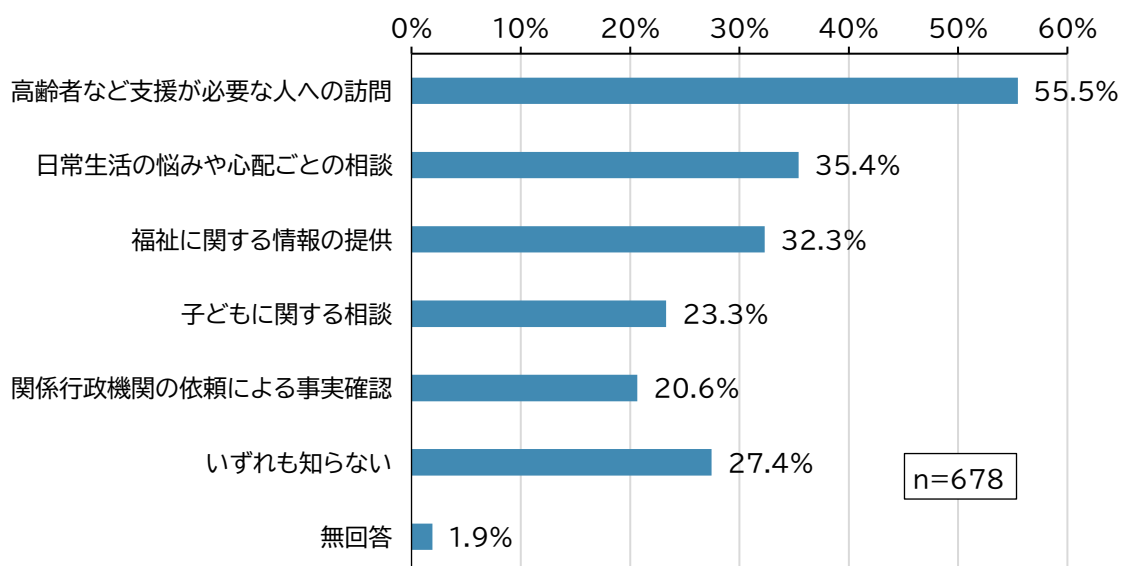


## 地域福祉を進めるための取り組みについて

### 23. 社会福祉協議会・民生委員・児童委員の活動内容認知

問 23 社会福祉協議会や民生委員・児童委員が、地域福祉に関する下記の活動を行っていることをご存じですか。(あてはまるものすべてに○)

社会福祉協議会・民生委員・児童委員の活動内容認知については、「高齢者など支援が必要な人への訪問」が55.5%で最も高く、次いで「日常生活の悩みや心配ごとの相談」(35.4%)、「福祉に関する情報の提供」(32.3%)の順となっています。



地区別では、小摺戸地区で「高齢者など支援が必要な人への訪問」「福祉に関する情報の提供」、上原地区・小摺戸地区で「日常生活の悩みや心配ごとの相談」 梶山地区・新屋地区で「子どもに関する相談」、横山地区で「関係行政機関の依頼による事実確認」の割合が比較的高くなっています。

性別では、女性で「高齢者など支援が必要な人への訪問」「子どもに関する相談」の割合が比較的高い一方、男性では「いずれも知らない」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるほど「高齢者など支援が必要な人への訪問」の割合が高くなる一方で、年齢が若くなるほど「いずれも知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、30～39歳で「子どもに関する相談」、70歳以上で「日常生活の悩みや心配ごとの相談」「関係行政機関の依頼による事実確認」の割合がそれぞれ高くなっています。

ボランティアへの興味別では、興味はあるで「高齢者など支援が必要な人への訪問」割合が特に高い一方で、興味はないで「いずれも知らない」の割合が高くなっています。

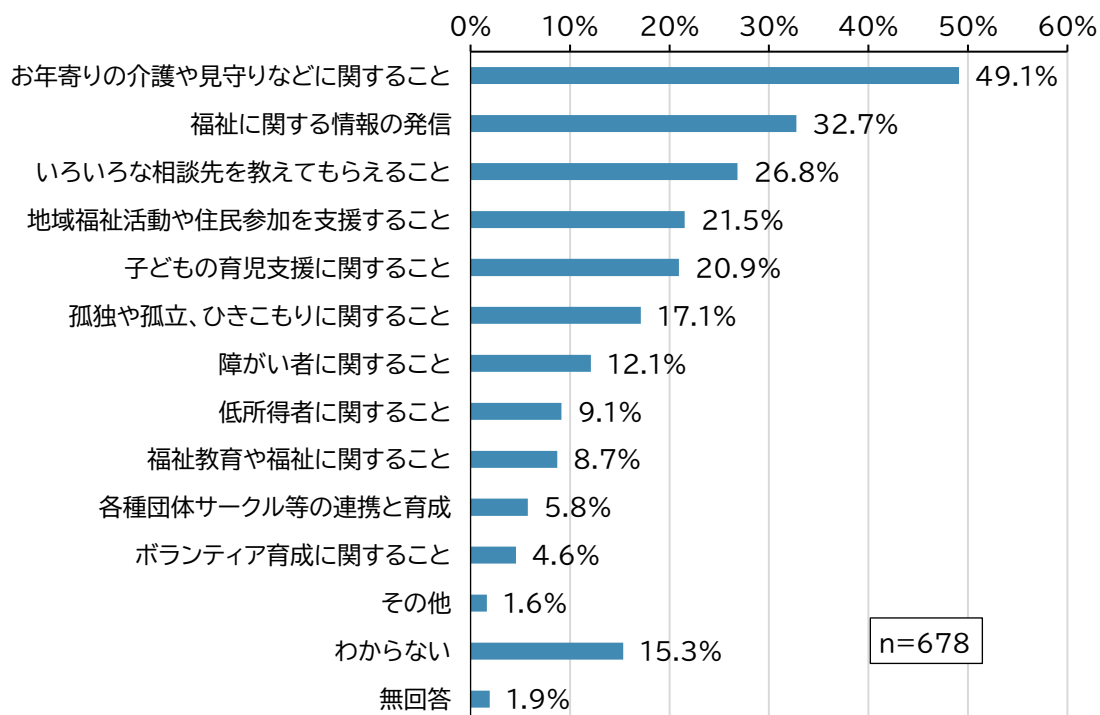
なお、前回調査と比べ、今回調査での結果に大きな変化は見られませんでした。

		高齢者など支援が必要な人への訪問	日常生活の悩みや心配ごとの相談	福祉に関する情報の提供	子どもに関する相談	関係行政機関の依頼による事実確認	いずれも知らない
全体(n=678)		55.5%	35.4%	32.3%	23.3%	20.6%	27.4%
地区別	入善地区(n=162)	58.0%	37.7%	31.5%	25.3%	22.2%	27.2%
	上原地区(n=81)	56.8%	48.1%	34.6%	28.4%	18.5%	27.2%
	青木地区(n=48)	47.9%	14.6%	25.0%	14.6%	16.7%	33.3%
	飯野地区(n=144)	52.8%	36.1%	22.2%	18.1%	19.4%	26.4%
	小摺戸地区(n=35)	71.4%	48.6%	45.7%	25.7%	25.7%	11.4%
	新屋地区(n=55)	61.8%	30.9%	36.4%	30.9%	23.6%	29.1%
	栲山地区(n=65)	49.2%	29.2%	35.4%	32.3%	20.0%	32.3%
	横山地区(n=36)	63.9%	30.6%	41.7%	11.1%	30.6%	25.0%
	舟見地区(n=38)	44.7%	36.8%	42.1%	23.7%	15.8%	31.6%
	野中地区(n=10)	50.0%	20.0%	50.0%	10.0%	0.0%	30.0%
性別	男性(n=299)	50.5%	35.1%	33.4%	19.7%	18.7%	32.8%
	女性(n=372)	59.4%	36.0%	31.5%	26.6%	22.0%	23.4%
年齢別	18~29歳(n=73)	27.4%	19.2%	19.2%	27.4%	4.1%	52.1%
	30~39歳(n=75)	37.3%	28.0%	28.0%	33.3%	9.3%	41.3%
	40~49歳(n=102)	43.1%	34.3%	27.5%	29.4%	21.6%	33.3%
	50~59歳(n=110)	55.5%	28.2%	30.9%	20.9%	19.1%	32.7%
	60~69歳(n=155)	69.7%	40.6%	38.7%	21.3%	23.9%	16.1%
	70歳以上(n=161)	71.4%	46.6%	37.9%	16.8%	30.4%	13.7%
ボランティアの興味別	興味はある(n=282)	66.3%	44.3%	42.9%	31.9%	28.7%	16.0%
	興味はない(n=350)	46.9%	27.7%	23.1%	16.9%	13.1%	37.7%
	その他(n=32)	56.3%	40.6%	40.6%	21.9%	28.1%	21.9%

## 24. 社会福祉協議会に期待すること

問 24 あなたは、社会福祉協議会や福祉の団体にどのようなことを期待しますか。(〇は3つまで)

社会福祉協議会に期待することは、「お年寄りの介護や見守りなどに関すること」が49.1%で最も高く、次いで「福祉に関する情報の発信」(32.7%)、「いろいろな相談先を教えてもらえること」(26.8%)、「地域福祉活動や住民参加を支援すること」(21.5%)、「子どもの育児支援に関すること」(20.9%)の順となっています。



地区別では、上原地区で「子どもの育児支援に関すること」、小摺戸地区で「地域福祉活動や住民参加を支援すること」、横山地区で「福祉に関する情報の発信」「いろいろな相談先を教えてください」「孤独や孤立、ひきこもりに関すること」「福祉教育や福祉に関すること」、舟見地区で「お年寄りの介護や見守りなどに関すること」「障がい者に関すること」の割合が比較的高くなっています。

性別では、女性で「お年寄りの介護や見守りなどに関すること」「いろいろな相談先を教えてください」、の割合が高い一方、男性では「分からない」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、18～39歳で「子どもの育児支援に関すること」、70歳以上で「福祉に関する情報の発信」の割合が他の年齢層に比べ高くなっています。また、年齢が若くなるほど「わからない」の割合が高くなる傾向がみられます。

なお、前回調査に比べ、今回調査では18～39歳で「子どもの育児支援に関すること」の割合が高くなっています。

		お年寄りの介護や見守りなどに関すること	福祉に関する情報の発信	いろいろな相談先を教えてください	地域福祉活動や住民参加を支援すること	子どもの育児支援に関すること	孤独や孤立、ひきこもりに関すること	障がい者に関すること	低所得者に関すること	福祉教育や福祉に関すること	各種団体サークル等の連携と育成	ボランティア育成に関すること	その他	わからない
	全体(n=678)	49.1%	32.7%	26.8%	21.5%	20.9%	17.4%	12.2%	9.1%	8.7%	5.9%	4.6%	1.8%	15.3%
地区別	入善地区(n=162)	50.0%	30.2%	24.1%	18.5%	25.9%	15.4%	12.3%	10.5%	9.3%	2.5%	3.1%	2.5%	16.7%
	上原地区(n=81)	54.3%	28.4%	28.4%	19.8%	32.1%	16.0%	13.6%	6.2%	4.9%	9.9%	6.2%	0.0%	11.1%
	青木地区(n=48)	47.9%	31.3%	25.0%	29.2%	20.8%	14.6%	10.4%	8.3%	6.3%	6.3%	4.2%	2.1%	12.5%
	飯野地区(n=144)	48.6%	34.7%	28.5%	18.8%	13.2%	17.4%	9.7%	9.7%	7.6%	6.9%	4.2%	2.1%	16.7%
	小摺戸地区(n=35)	51.4%	37.1%	14.3%	40.0%	22.9%	17.1%	8.6%	2.9%	11.4%	2.9%	0.0%	0.0%	11.4%
	新屋地区(n=55)	40.0%	27.3%	20.0%	21.8%	21.8%	18.2%	9.1%	12.7%	12.7%	3.6%	7.3%	3.6%	25.5%
	柵山地区(n=65)	50.8%	40.0%	33.8%	13.8%	21.5%	20.0%	13.8%	10.8%	9.2%	9.2%	6.2%	3.1%	15.4%
	横山地区(n=36)	38.9%	41.7%	36.1%	30.6%	13.9%	25.0%	13.9%	11.1%	13.9%	8.3%	8.3%	0.0%	11.1%
	舟見地区(n=38)	63.2%	34.2%	31.6%	26.3%	10.5%	23.7%	15.8%	5.3%	5.3%	7.9%	5.3%	0.0%	10.5%
	野中地区(n=10)	30.0%	30.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	40.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
性別	男性(n=299)	43.5%	31.4%	22.1%	25.8%	19.4%	15.7%	12.0%	10.4%	6.7%	5.7%	4.3%	2.0%	20.4%
	女性(n=372)	53.8%	34.1%	30.1%	18.3%	22.6%	18.5%	12.4%	8.3%	10.2%	5.9%	4.8%	1.6%	11.6%
年齢別	18～29歳(n=73)	41.1%	21.9%	12.3%	17.8%	38.4%	11.0%	5.5%	9.6%	8.2%	4.1%	5.5%	2.7%	27.4%
	30～39歳(n=75)	48.0%	17.3%	28.0%	17.3%	54.7%	18.7%	10.7%	9.3%	10.7%	1.3%	1.3%	0.0%	18.7%
	40～49歳(n=102)	46.1%	29.4%	22.5%	16.7%	26.5%	17.6%	18.6%	8.8%	10.8%	2.9%	2.0%	2.9%	17.6%
	50～59歳(n=110)	51.8%	35.5%	32.7%	18.2%	12.7%	15.5%	11.8%	12.7%	10.0%	4.5%	5.5%	0.9%	15.5%
	60～69歳(n=155)	50.3%	38.1%	27.1%	21.9%	15.5%	18.1%	13.5%	9.0%	9.0%	7.7%	6.5%	3.2%	12.3%
	70歳以上(n=161)	52.2%	40.4%	31.1%	29.8%	5.0%	20.5%	11.2%	6.8%	5.6%	9.9%	5.0%	0.6%	9.9%

「孤独や孤立、ひきこもりに関すること」を選択した回答者の割合について、家族構成別では、夫婦のみ・子どもとの二世帯で割合が若干高くなっていますが、全体の割合と大きな差は見られませんでした。

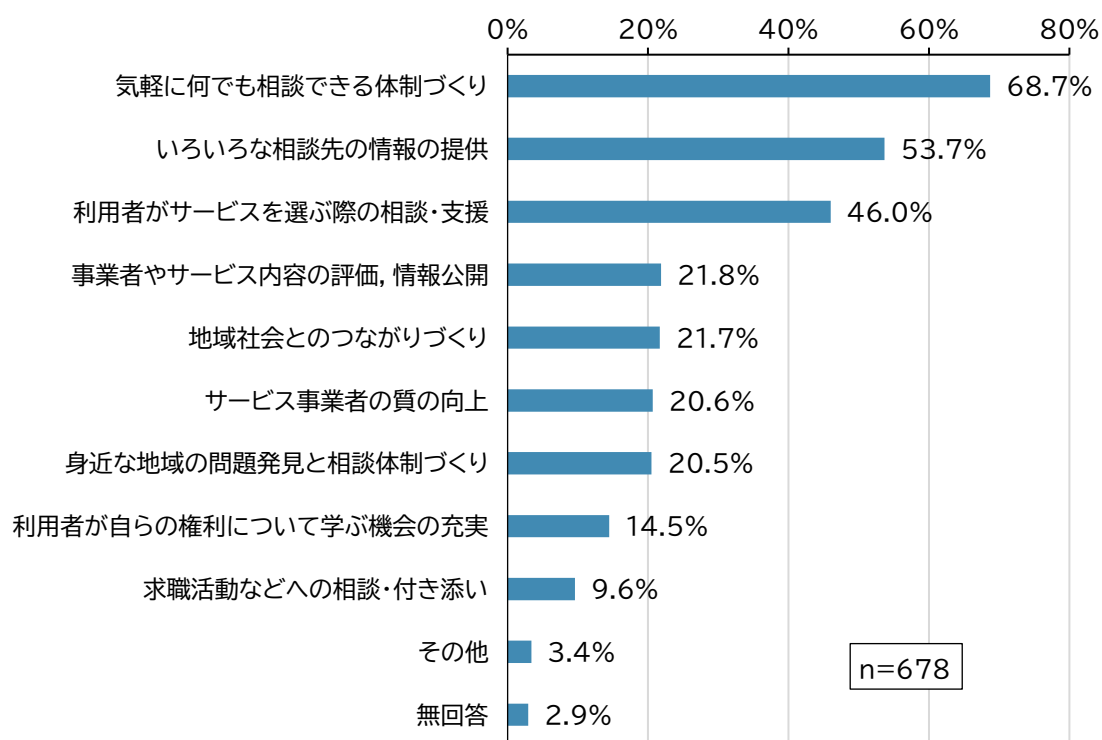
また、同居家族別では、中学生・高校生・身体・知的・精神などの障がいのある方で割合が若干高くなっていますが、全体の割合と大きな差は見られませんでした。

家族構成、同居家族別の「孤独や孤立、ひきこもりに関すること」を選択した回答者の割合		
全体(n=678)		17.6%
家族構成別	ひとり暮らし(n=55)	18.2%
	夫婦のみ(n=139)	19.4%
	子どもとの二世帯(n=191)	19.4%
	親との二世帯(n=146)	13.0%
	親と子どもとの三世帯(n=102)	15.7%
	その他(n=41)	17.1%
同居家族別	乳幼児(小学校入学前)(n=62)	12.9%
	小学生(n=81)	12.3%
	中学生・高校生(n=95)	21.1%
	65歳以上の方(n=325)	17.8%
	介護を必要とする方(n=57)	17.5%
	身体・知的・精神などの障がいのある方(n=57)	22.8%
	いずれもない(n=195)	16.4%

## 25. 必要な福祉サービスを受けるため必要と思うこと

問 25 高齢者や障がいのある人、子ども、子育てをしている人などが必要な福祉サービスを受けることができるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

必要な福祉サービスを受けるため必要と思うことについては、「気軽に何でも相談できる体制づくり」が68.7%で最も高く、次いで「いろいろな相談先の情報の提供」(53.7%)、「利用者がサービスを選ぶ際の相談・支援」(46.0%)の順となっています。



性別では、大きな差はなく、年齢別では、40～49歳で「地域社会とのつながりづくり」、60～69歳で「いろいろな相談先の情報の提供」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

家族構成別では、夫婦のみで「いろいろな相談先の情報の提供」「利用者がサービスを選ぶ際の相談・支援」の割合が高くなっています。

なお、前回調査と比べ、今回調査での結果に大きな変化は見られませんでした。

		気軽に何でも相談できる体制づくり	いろいろな相談先の情報の提供	利用者がサービスを選ぶ際の相談・支援	事業者やサービス内容の評価、情報公開	地域社会とのつながりづくり	リサービス事業者の質の向上	身近な地域の問題発見と相談体制づくり	利用者が自らの権利について学ぶ機会の充実	求職活動などへの相談・付き添い	その他
全体(n=678)		68.7%	53.7%	46.0%	21.8%	21.7%	20.6%	20.5%	14.5%	9.6%	3.4%
性別	男性(n=299)	67.6%	50.5%	44.1%	19.7%	22.1%	21.1%	20.4%	13.4%	8.4%	2.7%
	女性(n=372)	69.9%	56.5%	47.6%	23.7%	21.2%	20.2%	20.2%	14.8%	10.5%	4.0%
年齢別	18～29歳(n=73)	68.5%	50.7%	42.5%	21.9%	15.1%	24.7%	12.3%	12.3%	19.2%	2.7%
	30～39歳(n=75)	62.7%	40.0%	41.3%	18.7%	13.3%	22.7%	24.0%	17.3%	10.7%	12.0%
	40～49歳(n=102)	71.6%	56.9%	37.3%	28.4%	28.4%	20.6%	21.6%	23.5%	14.7%	2.0%
	50～59歳(n=110)	64.5%	56.4%	41.8%	28.2%	14.5%	25.5%	17.3%	12.7%	8.2%	3.6%
	60～69歳(n=155)	69.0%	62.6%	53.5%	19.4%	23.2%	23.9%	23.2%	10.3%	8.4%	1.9%
	70歳以上(n=161)	72.7%	49.1%	50.9%	17.4%	27.3%	11.2%	21.1%	13.0%	3.7%	1.9%
家族構成別	ひとり暮らし(n=55)	69.1%	40.0%	32.7%	14.5%	20.0%	18.2%	16.4%	5.5%	7.3%	1.8%
	夫婦のみ(n=139)	70.5%	61.2%	51.8%	24.5%	22.3%	22.3%	23.7%	12.2%	2.2%	1.4%
	子どもとの二世帯(n=191)	68.6%	49.7%	48.7%	17.8%	23.6%	19.4%	22.0%	17.8%	8.9%	2.1%
	親との二世帯(n=146)	67.1%	52.7%	42.5%	26.0%	16.4%	22.6%	17.1%	13.0%	14.4%	4.8%
	親と子どもとの三世帯(n=102)	68.6%	56.9%	46.1%	23.5%	22.5%	19.6%	15.7%	13.7%	11.8%	3.9%
	その他(n=41)	70.7%	58.5%	46.3%	24.4%	29.3%	19.5%	29.3%	24.4%	19.5%	12.2%



年齢別の「地域社会とのつながりづくり」を選択した回答者の男女比では、60歳以上で男性の割合が、18～59歳で女性の割合が全体の男女比より高くなっています。

家族構成別の「地域社会とのつながりづくり」を選択した回答者の男女比では、夫婦のみ・親との二世代で男性の割合が、一人暮らし・親と子どもとの三世代で女性の割合が全体の男女比より高くなっています。

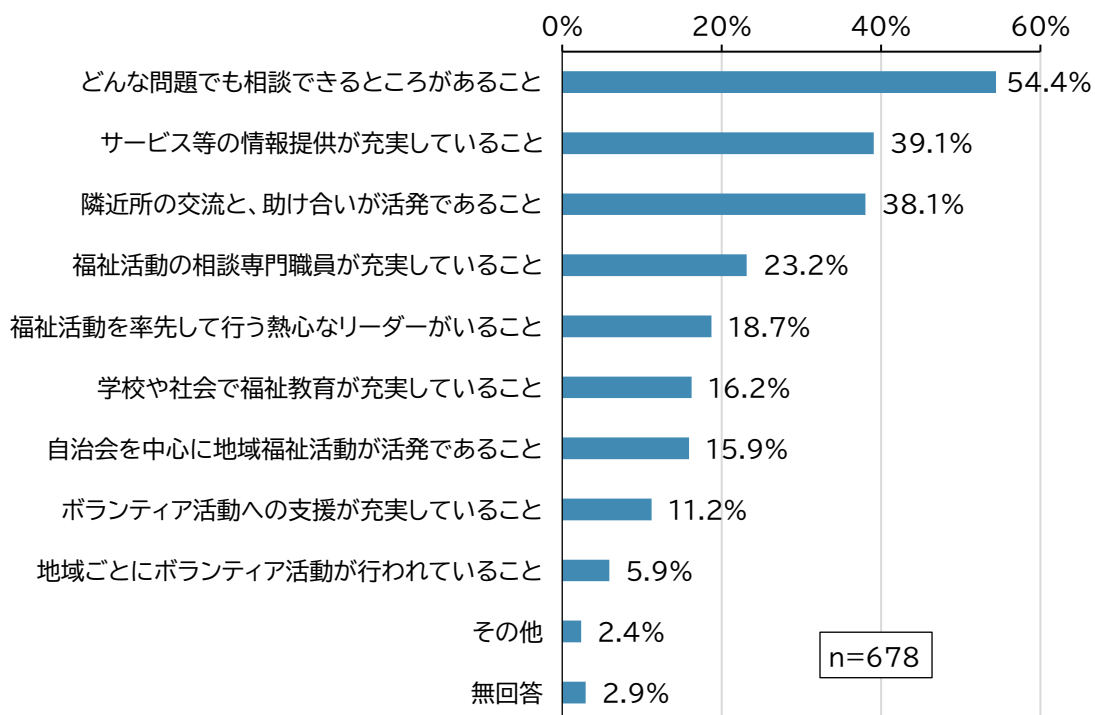
同居家族別の「地域社会とのつながりづくり」を選択した回答者の男女比では、乳幼児が同居されている男性の割合と、小学生が同居されている女性の割合が全体の男女比より高くなっています。

各項目別の「地域社会とのつながりづくり」を選択した回答者の男女比			
		男性	女性
全体(n=147)		44.9%	53.7%
年齢別	18～29歳(n=11)	36.4%	63.6%
	30～39歳(n=10)	40.0%	60.0%
	40～49歳(n=29)	37.9%	62.1%
	50～59歳(n=16)	31.3%	68.8%
	60～69歳(n=36)	52.8%	47.2%
	70歳以上(n=44)	52.3%	45.5%
家族構成別	ひとり暮らし(n=11)	27.3%	72.7%
	夫婦のみ(n=31)	54.8%	41.9%
	子どもとの二世代(n=45)	44.4%	55.6%
	親との二世代(n=24)	50.0%	50.0%
	親と子どもとの三世代(n=23)	34.8%	65.2%
	その他(n=12)	50.0%	50.0%
同居家族別	乳幼児(小学校入学前)(n=14)	50.0%	50.0%
	小学生(n=16)	37.5%	62.5%
	中学生・高校生(n=25)	44.0%	56.0%
	65歳以上の方(n=76)	48.7%	50.0%
	介護を必要とする方(n=8)	37.5%	62.5%
	身体・知的・精神などの障がいのある方(n=14)	42.9%	57.1%
	いずれもない(n=44)	43.2%	56.8%

## 26. 住民が助け合うために大切と思うこと

問 26 身近な地域で住民が助けあい支えあうために、どのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

住民が助け合うために大切と思うことについては、「どんな問題でも相談できるところがあること」が54.4%で最も高く、次いで「サービス等の情報提供が充実していること」(39.1%)、「隣近所の交流と、助け合いが活発であること」(38.1%)、「福祉活動の相談専門職員が充実していること」(23.2%)の順となっています。



性別では、男性で「ボランティア活動への支援が充実していること」の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、18～39歳で「学校や社会で福祉教育が充実していること」、70歳以上で「隣近所の交流と、助け合いが活発であること」、「自治会を中心に地域福祉活動が活発であること」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

なお、前回調査に比べ、今回調査では「自治会を中心に地域福祉活動が活発であること」の割合がどの性別・年齢層でも低くなっています。

		どんな問題でも相談できることがあること	サービス等の情報提供が充実していること	隣近所の交流と、助け合いが活発であること	福祉活動の相談専門職員が充実していること	福祉活動を率先して行う熱心なリーダーがいること	学校や社会で福祉教育が充実していること	自治会を中心に地域福祉活動が活発であること	ボランティア活動への支援が充実していること	地域ごとにボランティア活動が行われていること	その他
全体(n=678)		54.4%	39.1%	38.1%	23.2%	18.7%	16.2%	15.9%	11.2%	5.9%	2.4%
性別	男性(n=299)	53.5%	36.5%	38.1%	23.7%	17.4%	13.7%	18.7%	15.1%	7.4%	2.0%
	女性(n=372)	55.4%	41.7%	38.2%	22.3%	20.2%	18.5%	13.7%	8.3%	4.8%	2.7%
年齢別	18～29歳(n=73)	47.9%	42.5%	31.5%	15.1%	12.3%	28.8%	13.7%	6.8%	4.1%	2.7%
	30～39歳(n=75)	54.7%	41.3%	24.0%	18.7%	9.3%	29.3%	6.7%	10.7%	5.3%	5.3%
	40～49歳(n=102)	56.9%	46.1%	39.2%	19.6%	19.6%	17.6%	11.8%	7.8%	4.9%	1.0%
	50～59歳(n=110)	52.7%	45.5%	26.4%	26.4%	22.7%	15.5%	12.7%	18.2%	4.5%	2.7%
	60～69歳(n=155)	56.8%	35.5%	44.5%	25.2%	16.1%	9.7%	14.8%	14.2%	5.2%	1.9%
	70歳以上(n=161)	54.7%	31.7%	49.1%	26.7%	25.5%	10.6%	27.3%	8.1%	9.3%	1.9%

## 成年後見制度の取り組みについて

### 27. 成年後見制度の取り組みの認知

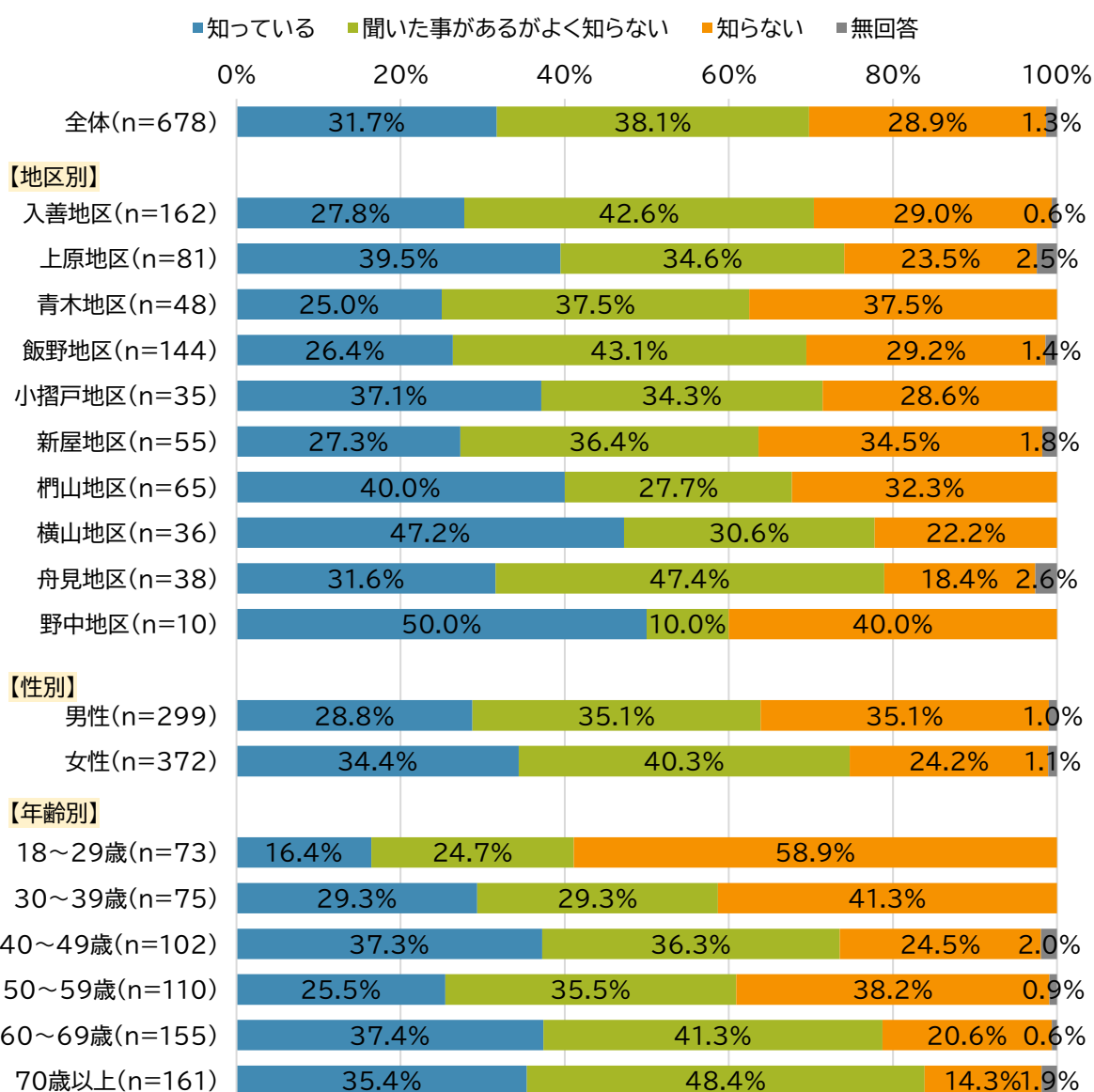
問 27 あなたは、認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方に代わって家庭裁判所により成年後見人が選ばれ、財産管理や福祉サービス等の契約を行う成年後見制度を知っていますか。(〇は1つだけ)

成年後見制度の取り組みの認知については、「聞いたことがあるがよく知らない」が38.1%で最も高く、次いで「知っている」(31.7%)、「知らない」(28.9%)の順となっています。

地区別では、横山地区で「知っている」、青木地区で「知らない」の割合が比較的高くなっています。

性別では、男性で「知らない」の割合がやや高くなっています。

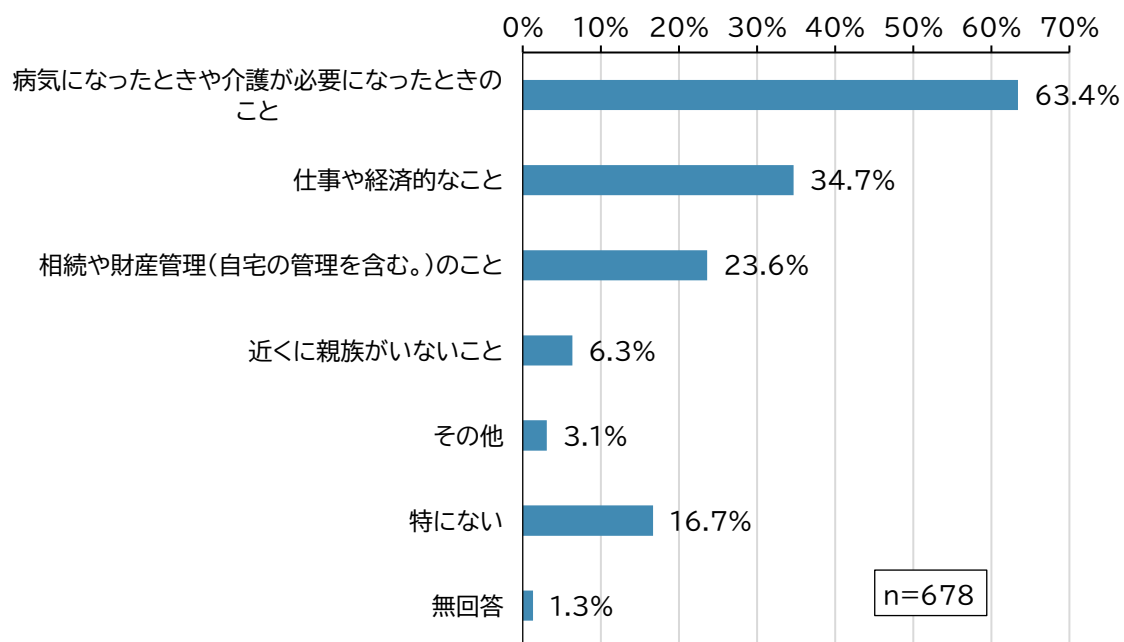
年齢別では、18～39歳で「知らない」、70歳以上で「聞いたことがあるがよく知らない」の割合が高くなっています。



## 28. 将来に向けて心配なこと

問 28 あなたは、将来に向けて心配ごとや困りごとがありますか。(〇はいくつでも)

将来に向けて心配なことについては、「病気になったときや介護が必要になったときのこと」が63.4%で最も高く、次いで「仕事や経済的なこと」(34.7%)、「相続や財産管理(自宅の管理を含む。)のこと」(23.6%)の順となっています。



地区別では、新屋地区で「病気になったときや介護が必要になったときのこと」「相続や財産管理（自宅の管理を含む。）のこと」、梶山地区で「仕事や経済的なこと」の割合が高くなっています。

性別では、大きな差はなく、年齢別では、年齢が高くなるほど「病気になったときや介護が必要になったときのこと」「近くに親族がいないこと」の割合が高くなり、18～49歳で「仕事や経済的なこと」の割合が高くなっています。また、18～29歳で「特になし」の割合が高くなっています。

同居家族別では、乳幼児で「仕事や経済的なこと」、介護を必要とする方・身体・知的・精神などの障がいのある方で「病気になったときや介護が必要になったときのこと」の割合が高くなっています。

60歳以上のみの世帯及び、70歳以上のみの世帯の回答者に絞った場合では、「病気になったときや介護が必要になったときのこと」の割合が高くなっています。

また、いずれもいないで「近くに親族がいないこと」の割合が高くなっています。

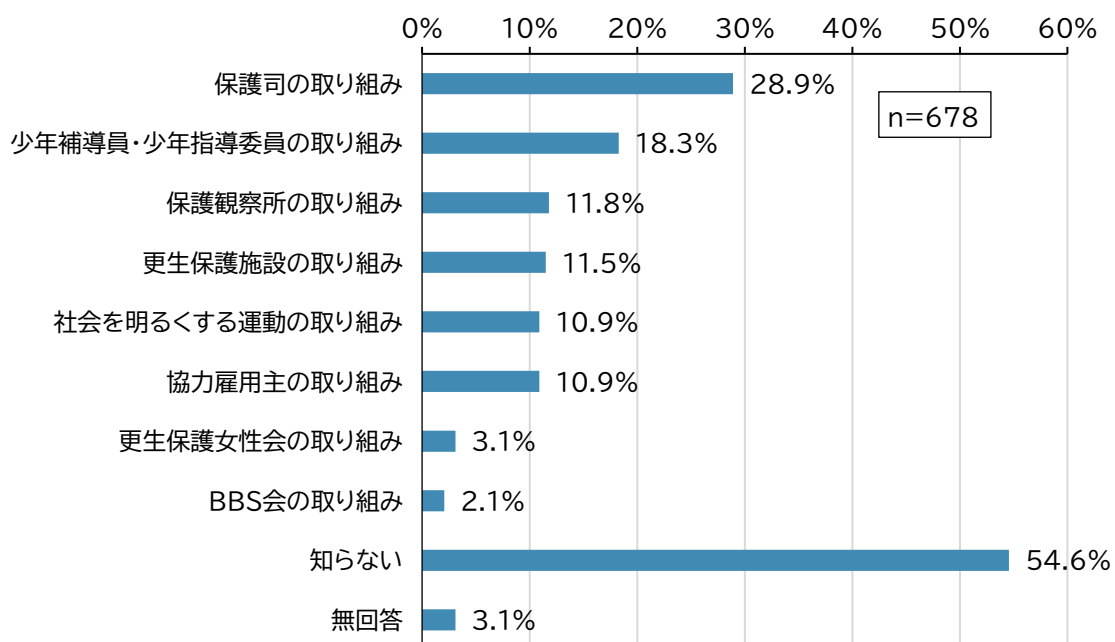
		病気になるたときや介護が必要になったときのこと	仕事や経済的なこと	相続や財産管理(自宅の管理を含む。)のこと	近くに親族がないこと	その他	特にない
全体(n=678)		63.4%	34.7%	23.6%	6.3%	3.1%	16.7%
地区別	入善地区(n=162)	57.4%	42.6%	21.6%	4.9%	2.5%	18.5%
	上原地区(n=81)	64.2%	24.7%	25.9%	7.4%	2.5%	17.3%
	青木地区(n=48)	58.3%	31.3%	20.8%	4.2%	4.2%	16.7%
	飯野地区(n=144)	66.7%	29.9%	22.2%	9.0%	4.9%	16.7%
	小摺戸地区(n=35)	62.9%	31.4%	20.0%	8.6%	5.7%	20.0%
	新屋地区(n=55)	74.5%	34.5%	36.4%	3.6%	1.8%	10.9%
	柵山地区(n=65)	61.5%	46.2%	20.0%	7.7%	3.1%	16.9%
	横山地区(n=36)	69.4%	33.3%	27.8%	8.3%	0.0%	13.9%
	舟見地区(n=38)	68.4%	31.6%	23.7%	2.6%	0.0%	18.4%
	野中地区(n=10)	70.0%	30.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%
性別	男性(n=299)	61.2%	34.4%	24.4%	4.7%	3.0%	18.7%
	女性(n=372)	65.6%	35.5%	23.1%	7.8%	3.2%	15.1%
年齢別	18～29歳(n=73)	28.8%	50.7%	15.1%	2.7%	4.1%	32.9%
	30～39歳(n=75)	46.7%	54.7%	24.0%	1.3%	2.7%	17.3%
	40～49歳(n=102)	62.7%	52.0%	24.5%	4.9%	3.9%	14.7%
	50～59歳(n=110)	68.2%	42.7%	27.3%	6.4%	2.7%	11.8%
	60～69歳(n=155)	70.3%	27.7%	28.4%	7.1%	3.9%	14.8%
	70歳以上(n=161)	78.3%	8.7%	19.9%	10.6%	1.9%	15.5%
同居家族	乳幼児(小学校入学前)(n=62)	46.8%	50.0%	16.1%	3.2%	9.7%	22.6%
	小学生(n=71)	54.3%	43.2%	21.0%	1.2%	3.7%	21.0%
	中学生・高校生(n=74)	53.7%	43.2%	16.8%	2.1%	2.1%	21.1%
	65歳以上の方(n=309)	63.1%	35.7%	25.5%	4.3%	3.1%	17.2%
	介護を必要とする方(n=43)	77.2%	38.6%	19.3%	1.8%	5.3%	14.0%
	身体・知的・精神などの障がいのある方(n=57)	84.2%	40.4%	17.5%	3.5%	8.8%	8.8%
	いずれもない(n=195)	65.6%	32.3%	24.1%	12.3%	1.5%	15.4%
世帯構成	60歳以上のみの世帯(n=109)	72.5%	17.4%	28.4%	6.4%	3.7%	13.8%
	70歳以上のみの世帯(n=58)	75.9%	8.6%	22.4%	6.9%	1.7%	17.2%

## 再犯防止推進の取り組みについて

### 29. 再犯防止推進の取り組みの認知

問 29 国や県において、再犯防止を目的として再犯防止推進計画が策定されています。あなたが知っている再犯防止推進の取り組みについて教えてください。(〇はいくつでも)

再犯防止推進の取り組みの認知については、「知らない」が 54.6%と最も高いが、「保護司の取り組み」が 28.9%、「少年補導員・少年指導員の取り組み」が 18.3%となっています。





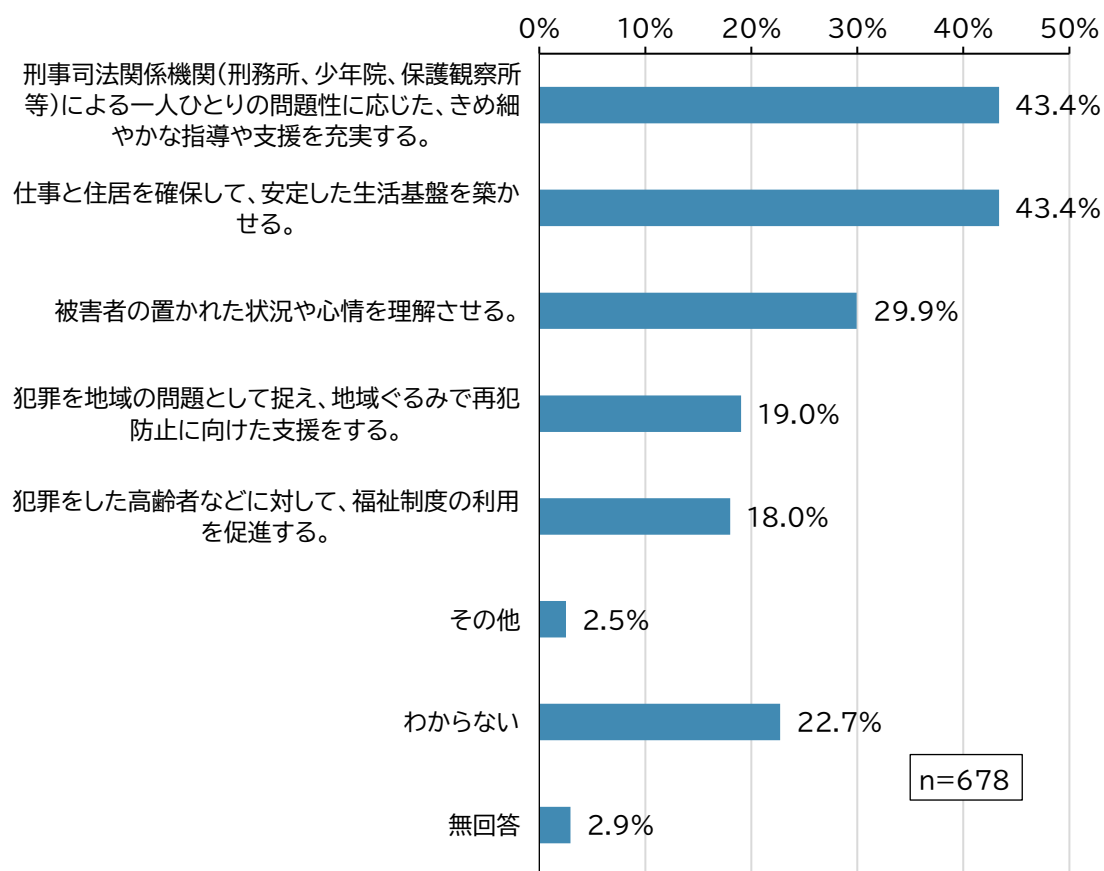
性別では、大きな差はなく、年齢別では、年齢が高くなるほど「保護司の取り組み」の割合が高くなる一方で、年齢が若くなるほど「知らない」の割合が高くなる傾向にあります。

		保護司の取り組み	少年補導員・少年指導委員の取り組み	保護観察所の取り組み	更生保護施設の取り組み	社会を明るくする運動の取り組み	協力雇用主の取り組み	更生保護女性会の取り組み	BBS会の取り組み	知らない
全体(n=678)		28.9%	18.3%	11.8%	11.5%	10.9%	10.9%	3.1%	2.1%	54.6%
性別	男性(n=299)	28.4%	20.7%	14.4%	13.0%	10.7%	11.7%	2.0%	3.0%	55.2%
	女性(n=372)	29.8%	16.4%	9.7%	10.5%	11.0%	10.2%	3.8%	1.3%	54.3%
年齢別	18～29歳(n=73)	5.5%	12.3%	9.6%	6.8%	5.5%	1.4%	0.0%	1.4%	74.0%
	30～39歳(n=75)	17.3%	16.0%	9.3%	8.0%	10.7%	10.7%	4.0%	1.3%	66.7%
	40～49歳(n=102)	25.5%	13.7%	9.8%	11.8%	7.8%	11.8%	2.9%	2.0%	62.7%
	50～59歳(n=110)	27.3%	20.0%	12.7%	14.5%	7.3%	9.1%	3.6%	1.8%	60.9%
	60～69歳(n=155)	36.1%	19.4%	14.8%	10.3%	13.5%	14.2%	2.6%	1.9%	49.0%
	70歳以上(n=161)	41.6%	23.0%	11.8%	14.3%	15.5%	13.0%	4.3%	3.1%	36.6%

### 30. 再犯防止のために必要だと思うこと

問 30 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

再犯防止のために必要だと思うことについては、「刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細やかな指導や支援を充実する。」と「仕事と住居を確保して、安定した生活基盤を築かせる。」が43.4%と最も高く、次いで「被害者の置かれた状況や心情を理解させる。」(29.9%)、「犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする。」(19.0%)、「犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する。」(18.0%)の順となっています。



性別では、女性で「刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとりの問題性に  
 応じた、きめ細やかな指導や支援を充実する。」の割合が比較的高い一方、男性では「分からない」  
 の割合が比較的高くなっています。

年齢別では、18～29歳で「刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとり  
 の問題性に  
 応じた、きめ細やかな指導や支援を充実する。」、60～69歳で「仕事と住居を確保して、安  
 定した生活基盤を築かせる。」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

		刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとりの問題性に 応じた、きめ細やかな指導や支援を充実する。	仕事と住居を確保して、安定した生活基盤を築かせる。	被害者の置かれた状況や心情を理解させる。	犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする。	犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する。	その他	分からない
全体(n=678)		43.4%	43.4%	29.9%	19.0%	18.0%	2.5%	22.7%
性別	男性(n=299)	39.5%	41.5%	29.8%	18.7%	15.4%	2.0%	26.8%
	女性(n=372)	46.8%	45.4%	30.1%	18.8%	20.2%	3.0%	19.9%
年齢別	18～29歳(n=73)	50.7%	49.3%	23.3%	20.5%	19.2%	1.4%	21.9%
	30～39歳(n=75)	38.7%	33.3%	29.3%	21.3%	13.3%	6.7%	26.7%
	40～49歳(n=102)	45.1%	42.2%	33.3%	20.6%	17.6%	2.0%	21.6%
	50～59歳(n=110)	50.0%	43.6%	27.3%	15.5%	14.5%	5.5%	20.9%
	60～69歳(n=155)	42.6%	50.3%	31.0%	14.8%	22.6%	0.6%	23.2%
	70歳以上(n=161)	37.9%	39.8%	32.3%	23.0%	18.0%	1.2%	23.0%

